


# Hybrid Graphic Printer

## 取扱説明書

## UP-X898MD

お買い上げいただきありがとうございます。

 **警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、  
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。  
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、  
いつでも見られるところに必ず保管してください。

# 安全のために

本機は正しく使用すれば事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

## 安全のための注意事項を守る

4～10ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の安全上の注意事項が記されています。34ページの「本機の性能を保持するために」も併せてお読みください。

## 故障したら使わない

すぐに、ソニーのサービス窓口または営業担当者にご連絡ください。

## 万一、異常が起きたら

- ・煙が出たら
- ・異常な音、においがしたら
- ・内部に水、異物が入ったら
- ・製品を落としたり、キャビネットを破損したときは

- ① 電源を切ります。
- ② 電源コードや接続ケーブルを抜きます。
- ③ ソニーのサービス窓口または営業担当者までご相談ください。

## 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる可能性があります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

### 注意を促す記号



火災



感電



高温

### 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止

### 行為を指示する記号



指示



アース線を  
接続せよ



手を挟まれ  
ないよう注意



プラグをコン  
セントから抜く

---

# 目次

警告 .....	4
注意 .....	5

エラーメッセージ一覧 .....	40
アフターサービス .....	41
ライセンスについて .....	41
索引 .....	42

---

## はじめに

本機の特長 .....	11
各部の名称と働き .....	11
フロントパネル .....	11
リアパネル .....	12
接続する .....	13
コンピューターにプリンタードライバーをインス トールする .....	14
プリンター用紙について .....	14
プリンター用紙の種類 .....	14
プリンター用紙を取り付ける .....	15

---

## 操作

メニューで行う調節と設定 .....	18
メニューフロー .....	18
メニュー一覧 .....	19
メニューの操作方法 .....	23
メニューの設定値を登録する .....	24
メニュー一覧をプリントする .....	25
プリントする .....	26
ビデオ機器からの画像をプリントする .....	26
コンピューターからプリントする .....	28
プリントされた紙を切る .....	29
プリントを中断するには .....	29
同じ画像をもう1度プリントするには .....	30
プリンター用紙を送るには .....	30
明るさやコントラストを調節する .....	30
USB フラッシュメモリーに画像データを保存する .....	31

---

## その他

本機の性能を保持するために .....	34
電源について .....	34
安全のために .....	34
置き場所について .....	34
持ち運びについて .....	34
バッテリーについて .....	34
お手入れ .....	35
キャビネットのクリーニング .....	35
ヘッドのクリーニング .....	35
プラテンローラーのクリーニング .....	36
主な仕様 .....	37
故障とお考えになる前に .....	39



下記の注意を守らないと、  
**火災や感電により死亡や大けが**に  
つながることがあります。



禁止

### 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- ・ 設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。
- ・ 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・ 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・ 熱器具に近付けたり、加熱したりしない。
- ・ 電源コードを抜くときは、必ずプラグをもって抜く。

万一、電源コードが傷んだら、ソニーのサービス窓口または営業担当者に交換をご依頼ください。



禁止

### 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、ソニーのサービス窓口または営業担当者にご相談ください。



分解禁止

### 分解や改造をしない

分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。

内部の点検や修理は、ソニーのサービス窓口または営業担当者にご依頼ください



禁止

### 雨のあたる場所や、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所やこの取扱説明書に記されている使用条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。



指示

### 移動の際は電源コードや接続ケーブルを抜く

コード類を接続したまま本機を移動させると、コードに傷がついて火災や感電の原因となることがあります。



指示

### 表示された電源電圧で使用する

製品の表示と異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

日本国内では 100 V でお使いください。



水ぬれ禁止

### 水にぬれる場所で使用しない

水ぬれすると、漏電による感電発火の原因となることがあります。

## ⚠ 注意

下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります



アース線を  
接続せよ

### 安全アースを接続する

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。  
付属の電源コードを使用することで安全アースが接続されます。  
3極 → 2極変換プラグは使用しないでください。



禁止

### 不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。



ぬれ手禁止

### ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。



指示

### 付属の電源コードを使う

付属の電源コードを使わないと、火災や感電の原因となることがあります。



禁止

### 製品の上に乗らない、重いものに乗せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



指示

### コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。  
充分注意して接続・配置してください。



指示

### 電源コードのプラグ及びコネクタは突き当たるまで差し込む

真っ直ぐに突き当たるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。



禁止

### カッターの刃には触れない

カッターの刃に触れると、けがをすることがあります。



禁止

### 通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- ・ 壁から 10cm 以上離して設置する。
- ・ 密閉された狭い場所に押し込めない。
- ・ 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- ・ 布などで包まない。
- ・ あお向けや横倒し、逆さまにしない。



手を挟まれないよう注意

### ドアパネルの上に指を置かない

ドアパネルを閉める際はドアパネルの上に指を置かないでください。  
フロントパネルとの間に挟んでけがの原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

### お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



高温

### プリント直後サーマルヘッドに触れない

プリント直後は、サーマルヘッドが熱くなっている場合があり、触れるとやけどの原因となることがあります。



禁止

### プラテンローラーを連続回転させながらクリーニングしない

プラテンローラーをクリーニングする際はプラテンローラーを連続回転させながらクリーニングしないでください。ドアパネルとの間に指を挟んでけがの原因となることがあります。



禁止

### プラテンローラーの回転中に手のひらをプラテンローラーに近づけない

プラテンローラーを連続回転させた状態でクリーニングなどを行うと、手のひらが挟み込まれてけがをすることがあります。

## 医療環境で使用するための重要なお知らせ

1. 本機に接続する全ての機器は、安全規格の IEC60601-1、IEC60950-1、IEC60065、あるいは機器に適用できる他の IEC/ISO 規格等に従って承認または適合しているものをご使用ください。
2. さらにシステム全体として IEC60601-1-1 規格に適合していなければなりません。信号入力部分あるいは信号出力部分に接続する全ての周辺機器が医療用のシステムとして構成されるため、システム全体として IEC60601-1-1 の規格要求に適合する責任があります。疑義がある場合には、ソニーの営業担当にご相談ください。
3. 他の機器と接続すると、漏れ電流を増加させる可能性があります。
4. この特定の機器のために、すべての周辺機器は上記のように接続し、IEC60601-1 の構造要求と最小基礎絶縁を備えている追加した絶縁トランス経由で商用電源に接続してください。
5. この機器は無線周波エネルギーを発生、利用しており、周囲に放射する可能性があります。取扱説明書に従って設置、使用されない場合、他の機器に対して電磁波障害を引き起こすかも知れません。この機器が電磁波障害を起こす場合は（この機器から電源コードのプラグを抜くことにより確認できます）、以下の方法を試してください。  
電磁波障害を受けている機器に対して、この機器を移動してください。この機器と電磁波障害を受けている機器を異なる電源系統のコンセントに接続してください。

ソニーの営業担当にご相談ください。

(適合規格：IEC60601-1-2 と CISPR11、Class B、Group1)

## 医療環境で使用するための EMC に関する重要なお知らせ

- UP-X898MD は、EMC に関して特に注意する必要があり、取扱説明書で提供される EMC 情報に従って設置及び使用する必要があります。
- UP-X898MD は、携帯電話のような、携帯型及び移動型の無線通信機器に影響を受けることがあります。

### 警告

ソニー株式会社によって指定されたもの以外のアクセサリやケーブルを使用すると、UP-X898MD のエミッション（電磁妨害の放射）増加やイミュニティ（電磁妨害の耐性）低下を招くことがあります。

### 指針及び製造業者の宣言－電磁エミッション

UP-X898MD は、下記の電磁環境で使用することを前提としています。

UP-X898MD のお客様または使用者は、下記の環境で使用することを確認してください。

エミッション試験	適合性	電磁環境－指針
無線周波エミッション CISPR 11	グループ 1	UP-X898MD は、内部機能のためだけに無線周波エネルギーを使用しています。そのため、無線周波エミッションは非常に低く、近傍の電子機器を妨害することは、ほぼありません。
無線周波エミッション CISPR 11	クラス B	UP-X898MD は、家庭及び家庭用に使用される建物に給電する公共の低電圧配電網に直接接続されている建造物を含むすべての建造物での使用に適しています。
電源高調波エミッション IEC 61000-3-2	クラス A	
電圧変動 / フリッカ エミッション IEC 61000-3-3	適合する	

### 警告

UP-X898MD を他の機器と隣接または積み重ねて使用する場合には、その使用構成で正常に動作していることを確認する必要があります。

**指針及び製造業者の宣言－電磁イミュニティ**

UP-X898MD は、下記の電磁環境での使用を意図しています。UP-X898MD のお客様または使用者は、下記の環境で使用することを確認してください。


イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	適合性レベル	電磁環境－指針
静電気放電 (ESD) IEC 61000-4-2	± 6 kV 接触 ± 8 kV 気中	± 6 kV 接触 ± 8 kV 気中	床材は木材、コンクリートまたは陶製タイルとしてください。床材が合成物質で覆われている場合、相対湿度が、少なくとも 30% 以上であることを条件とします。
電氣的ファストトランジェント (高速過渡現象) / バースト IEC 61000-4-4	± 2 kV 対電源線 ± 1 kV 対入出力線	± 2 kV 対電源線 ± 1 kV 対入出力線	電源の品質は、典型的な商用または病院環境のものを利用してください。
サージ IEC 61000-4-5	± 1 kV 差動モード ± 2 kV コモンモード	± 1 kV 差動モード ± 2 kV コモンモード	電源の品質は、典型的な商用または病院環境のものを利用してください。
電源入力ラインでの電圧ディップ、瞬停、および電圧変動 IEC 61000-4-11	<5% $U_T$ (>95% ディップ、 $U_T$ 時) 0.5 サイクルの間  40% $U_T$ (60% ディップ、 $U_T$ 時) 5 サイクルの間  70% $U_T$ (30% ディップ、 $U_T$ 時) 25 サイクルの間  <5% $U_T$ (>95% ディップ、 $U_T$ 時) 5 秒間	<5% $U_T$ (>95% ディップ、 $U_T$ 時) 0.5 サイクルの間  40% $U_T$ (60% ディップ、 $U_T$ 時) 5 サイクルの間  70% $U_T$ (30% ディップ、 $U_T$ 時) 25 サイクルの間  <5% $U_T$ (>95% ディップ、 $U_T$ 時) 5 秒間	電源の品質は、典型的な商用または病院環境のものを利用してください。 UP-X898MD の使用者が、停電中も継続して運用することが必要な場合は、無停電電源装置又はバッテリーから UP-X898MD に電源供給することを推奨します。
電源周波数 (50/60 Hz) 磁界 IEC 61000-4-8	3 A/m	3 A/m	電源周波数磁界は、典型的な商用または病院環境内の典型的な場所での特性レベルである必要があります。

備考:  $U_T$  は、試験レベルを加える前の機器の定格電源電圧である。



### 指針及び製造業者の宣言－電磁イミュニティ

UP-X898MD は、下記の電磁環境での使用を意図しています。UP-X898MD のお客様または使用者は、下記の環境で使用されることを確認してください。

イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	適合性レベル	電磁環境－指針
伝導性妨害 IEC 61000-4-6	3 Vrms 150 kHz ～ 80 MHz	3 Vrms	携帯型及び移動型の無線通信機器は、ケーブルを含む UP-X898MD のどの部分に対しても、無線通信機器の周波数に対応した式から計算された推奨分離距離以下に近づけて使用しないでください。  推奨分離距離  $d = 1.2 \sqrt{P}$
放射無線周波電磁界 IEC 61000-4-3	3 V/m 80 MHz ～ 2.5 GHz	3 V/m	$d = 1.2 \sqrt{P}$ 80 MHz ～ 800 MHz  $d = 2.3 \sqrt{P}$ 800 MHz ～ 2.5 GHz  $P$ は、無線通信機器のメーカーが公表した最大出力定格 (単位はワット (W)) で、 $d$ は推奨距離 (単位はメートル (m)) です。  電磁環境の現地調査によって得られる固定の無線送信機からの電磁界強度 <sup>a</sup> は、各周波数範囲 <sup>b</sup> において適合レベル未満である必要があります。  下記の記号が表示された機器の近くでは、妨害が生じる可能性があります。  

備考 1: 80 MHz 及び 800 MHz においては、高い方の周波数範囲を適用します。

備考 2: これらのガイドラインでは、対応できない場合もあります。

電磁波伝搬は、建物、物体および人体による吸収や反射の影響を受けます。

a 無線 (携帯 / コードレス) 電話及び陸上移動無線のための基地局、アマチュア無線、AM 及び FM ラジオ放送並びに TV 放送のような固定の送信機からの電磁界強度は、理論上、正確に予測することはできません。固定の無線送信機による電磁環境を評価する為には、電磁波の現地調査の検討が必要です。UP-X898MD が使用される場所で測定された電磁界強度が、対応する無線の適合レベルを超える場合、UP-X898MD が、正常に動作していることを確認してください。もし異常な動作が観測される場合、UP-X898MD の向きや場所を変えるとといった追加措置が必要となることがあります。

b 周波数範囲が 150 kHz ～ 80 MHz において、電界強度は 3 V/m 未満である必要があります。

**携帯型及び移動型の無線通信機器と、UP-X898MD との間の推奨分離距離**

UP-X898MD は、無線妨害放射が制御されている電磁環境内で使用することを前提としています。UP-X898MD のお客様または使用者は、携帯型及び移動型無線通信機器（送信機）と UP-X898MD との間の分離距離を保つことによって、電磁妨害を防ぐことができます。推奨の分離距離は、送信機器の最大出力によって、下記の通りです。

送信機の最大定格出力 W	送信機の周波数による分離距離 m		
	150 kHz ~ 80 MHz $d = 1.2 \sqrt{P}$	80 MHz ~ 800 MHz $d = 1.2 \sqrt{P}$	800 MHz ~ 2.5 GHz $d = 2.3 \sqrt{P}$
0.01	0.12	0.12	0.23
0.1	0.38	0.38	0.73
1	1.2	1.2	2.3
10	3.8	3.8	7.3
100	12	12	23

最大定格出力が上記にリストされていない送信機器については、送信機器のメーカーが公表する最大出力定格を P（単位：ワット（W））として、周波数に対応する式を使用して推奨分離距離 d（単位：メートル（m））を計算できます。

備考 1: 80 MHz 及び 800 MHz においては、高い方の周波数範囲に対する分離距離を適用します。

備考 2: これらのガイドラインでは対応できない場合もあります。

電磁波伝搬は、建物、物体および人体による吸収や反射の影響を受けます。

**注意**

本製品またはアクセサリを廃棄するときは、関連した地域または国の法律、および関連した病院の規則にしたがって実施されなければなりません。

**警告**

主電源を切断するには、電源プラグを抜いてください。設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。電源プラグを抜くことが困難な場所に ME 機器を設置しないでください。万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

**グラフィックシンボルの説明**



**一般的な警告標識**

本機にこのマークがある箇所は、本取扱説明書の警告文にしたがってご使用ください。  
注記 背景色：黄  
三角形のバンド：黒  
シンボル：黒



**取扱説明書参照**

本機にこのマークがある箇所は、本取扱説明書の指示にしたがってご使用ください。



このシンボルは製造業者を表し、隣接して製造業者名と住所が併記されます。



このシンボルは、欧州共同体における代表者を表し、隣接して欧州共同体における代表者の名称と住所が併記されます。



このシンボルは、システムの各部分と同じ電位にするための、等電位端子を示しています。

## 本機の特長

### 静かな高画質・高速プリント

- ・高速ドライブ IC 内蔵の薄膜サーマルヘッドを採用。  
12.8 ドット /mm の高密度印画が可能です。
- ・実印画時間約 1.9 秒 /1 画面 (A7 サイズ) で高画質プリントができます。(メニューの「-SPEED」で「HI」選択時)
- ・白黒 256 階調表現が可能です。
- ・温度差による印画ムラを防ぐ温度補正回路を内蔵しています。

### ビデオ機器とコンピューターからのプリントに対応

NTSC と PAL のビデオ信号を入力しプリントすることができます。ことに加え、Hi-Speed USB (USB 2.0 準拠) に対応した USB 端子 (タイプ B) を装備しており、コンピューターからのデジタル画像のプリントにも対応しています。

ビデオ機器からのプリントとコンピューターからのプリントには、特別な切り換え操作は必要ありません。

### USB フラッシュメモリーへの画像保管

Hi-Speed USB (USB 2.0 準拠) の USB 端子 (タイプ A) を装備しており、USB フラッシュメモリーにプリント済み画像の記録を行うことができます。

### メニューによる各種設定

メニュー操作でご使用になる状況に合わせた設定ができます。設定を 3 種類まで保存できます。

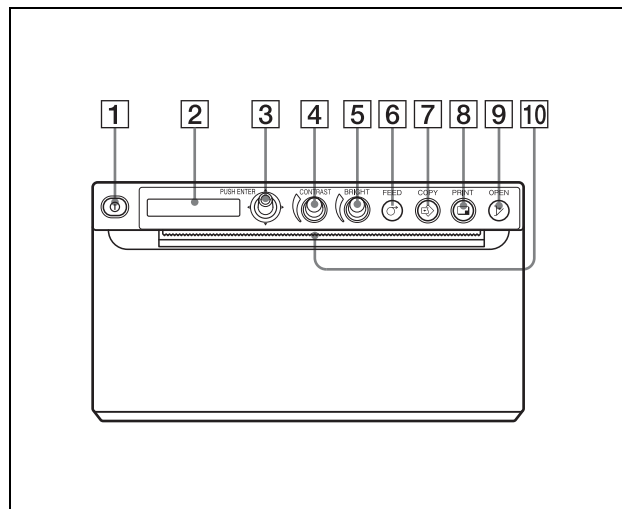
### プリンター用紙の取り付けが簡単

ドアパネルを開けてプリンター用紙を落とし込むだけで、簡単に取り付けることができます。

## 各部の名称と働き

( ) 内の数字は参照ページを示します。

### フロントパネル



- 1** ① 電源 ON/OFF スイッチ (16、23、26、35)  
スイッチを ON にして電源を入れると、液晶ディスプレイのバックライトが点灯します。

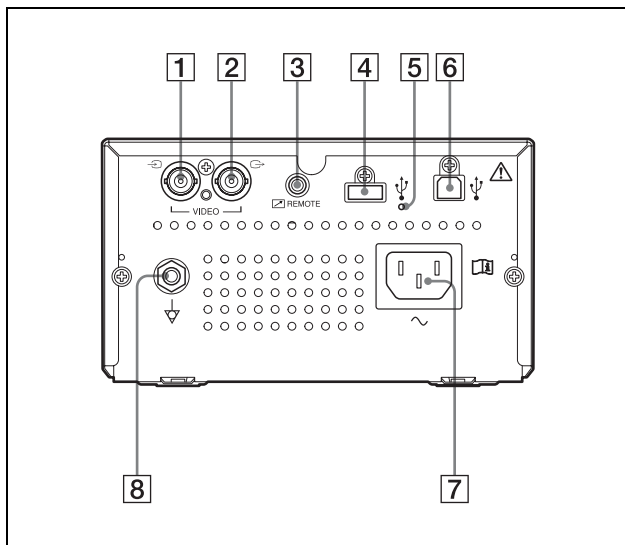
#### ご注意

電源 ON/OFF スイッチを OFF、または主電源を切断した後に再度電源を入れるときは、約 5 秒の間隔をあけてから入れてください。

- 2** 液晶ディスプレイ (18、26)  
正常に動作しているときは、バックライトが緑色に点灯しています。  
エラー発生時は、バックライトが橙色に点灯して、エラーメッセージを表示します。  
メニュー操作時は、メニューを表示します。
- 3** メニューレバー (23、35)  
メニュー操作を行うときに使用します。
- 4** ◀ CONTRAST (コントラスト) つまみ (30)  
プリント画のコントラストを調節します。
- 5** ◀ BRIGHT (明るさ) つまみ (30)  
プリント画の明暗を調節します。
- 6** Ⓞ FEED (紙送り) ボタン (17、30)  
用紙を送るとき押します。  
押している間だけ用紙が送られます。プリント中に押すとプリントを中断できます。

- 7** **COPY (複写) ボタン (30)**  
最後にプリントした画像を再度プリントするときに押します。  
プリント枚数の設定にかかわらず、1回押すごとに1枚プリントされます。
- 8** **PRINT (プリント) ボタン (26、32)**  
モニター上に表示されている画像をプリントするときに押します。PRINT ボタンを押した瞬間の画像がメモリーに記憶されます。
- 9** **OPEN (開く) ボタン (16、29)**  
ドアパネルを開けるときに押します。プリント中に押すとプリントを中断できます。
- 10** **ペーパーカッター**  
プリンター用紙を出口でカットするための刃です。

## リアパネル



- 1** **VIDEO (ビデオ) 入力端子**  
ビデオ機器のビデオ (映像) 出力端子に接続します。
- 2** **VIDEO (ビデオ) 出力端子**  
モニターのビデオ (映像) 入力に接続します。  
VIDEO 入力端子から入力した信号が出力されます。
- 3** **REMOTE (リモコン) 端子 (13)**  
別売りのリモートコマンダー RM-91、またはフットスイッチ FS-24 を接続します。

- 4** **USB 端子 (タイプ A) (32)**  
USB フラッシュメモリーを差し込みます。

### ご注意

64GB 以下で FAT16 または FAT32 フォーマットのソニー製 USB フラッシュメモリー以外の USB デバイスを接続しないでください。

- 5** **USB 端子 (タイプ A) インジケーター**  
サポートしていない USB デバイスがつながれたときに橙色で点灯します。サポートしている USB デバイスがつながれたときは点灯しません。
- 6** **USB 端子 (タイプ B)**  
USB インターフェースを持つコンピューターと接続して使用することができます。  
接続には別途 Hi-Speed USB 対応の USB ケーブルをご用意ください。

- 7** **AC IN (電源) 端子**  
付属の電源コードをつなぎます。

### 注意

3 極 → 2 極変換プラグはお使いにならないでください。

- 8** **等電位端子**  
本機に接続したすべての機器の電位が等しくなります。

# 接続する



## 警告

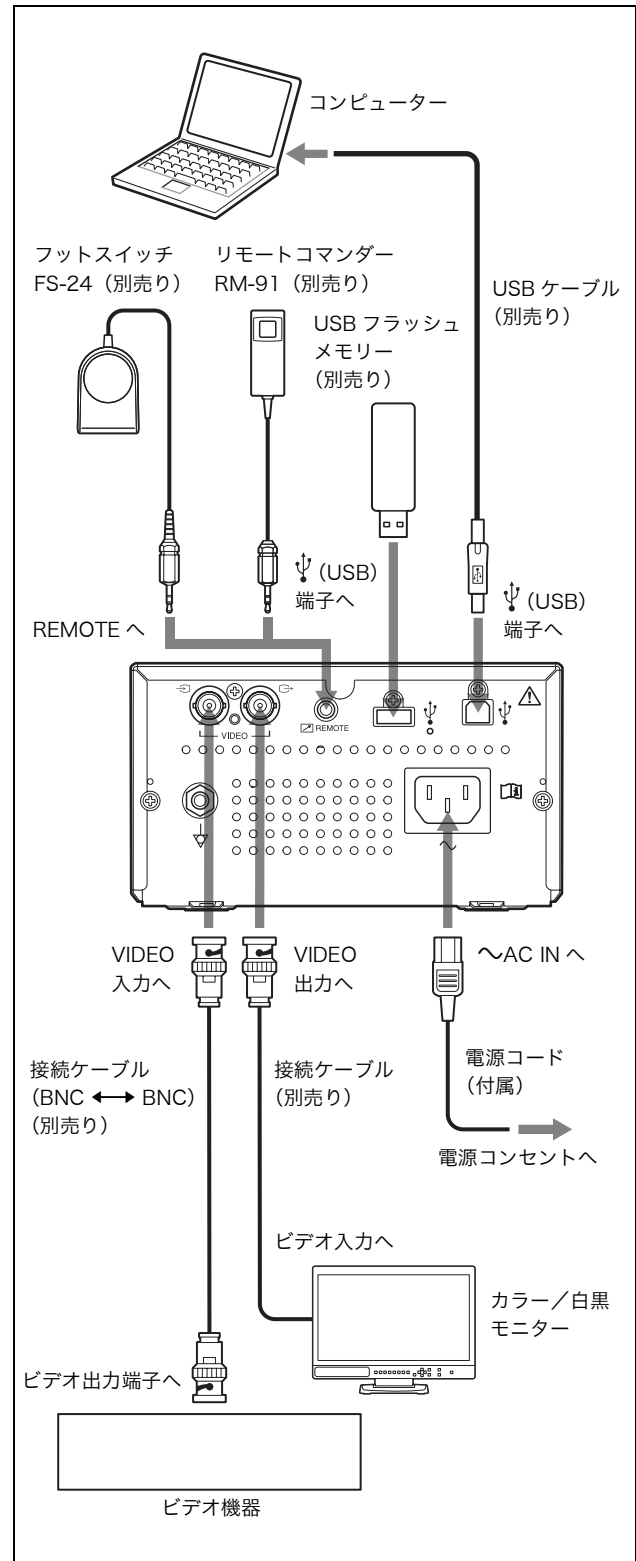
この機器のコネクターは絶縁されていません。  
ご使用にあたっては、IEC60601-1 に適合した機器以外の接続は禁止します。

交流電源で動作する IT 機器や AV 機器を接続されると、接続した機器から漏洩電流が流入し、患者や操作者に対して感電の危険があります。

やむを得ずご使用になる場合は、IT 機器や AV 機器側の電源に絶縁トランスを接続して絶縁を行うか、接続ケーブル間にアイソレーターを接続し絶縁を行う事により、システムとして IEC60601-1 に適合出来るレベルに感電のリスクが充分低減されている事を確認してからご使用下さい。

## ご注意

- ・ 各機器の電源を切ってから、接続してください。
- ・ 電源コードは最後に接続してください。
- ・ コンピューターに接続するときは、本機およびコンピューター、モニターなどコンピューターに接続している周辺機器の電源を必ず切ってください。
- ・ コンピューターに接続するときは、本機の電源コードをはずし、コンピューターに接続してから電源コードを接続してください。
- ・ コンピューターの説明書も併せてご覧ください。
- ・ ケーブルのコネクターは最後までしっかり差し込んでください。
- ・ 付属のプリンタードライバーは、ネットワーク経由での使用には対応していません。
- ・ ハブを使用した USB 接続をする場合は、動作を保証いたしません。
- ・ 本機はコンピューター 1 台につき 2 機以上接続できません。



## コンピューターにプリンタードライバーをインストールする

### お使いのコンピューターが Windows XP/Windows Vista の場合

プリンターとコンピューターを接続した後、プリンターの電源を入れます。インストールのしかたについては、付属の CD-ROM に格納されているインストールガイド、および Readme ファイルをお読みください。

### お使いのコンピューターが Windows 7/8 の場合

プリンターとコンピューターを接続する前に、付属のプリンタードライバーをコンピューターにインストールする必要があります。インストールのしかたについては、付属の CD-ROM に格納されているインストールガイド、および Readme ファイルをお読みください。

#### ご注意

プリンターの電源が入っているときは、プリンターに接続しているコンピューターをスタンバイ（サスペンド）状態や休止状態にしないでください。プリンターが正しく動作しなくなることがあります。

## プリンター用紙について

プリンター用紙は、必ず専用のソニー UPP-110S/110HD/110HG をお使いください。他のプリンター用紙をお使いになると、印画品質の保証ができないばかりでなく、プリンターの故障の原因にもなります。

**UP-880/890MD 用のプリンター用紙、UPP-110HA もお使いになれませんのでご注意ください。**

## プリンター用紙の種類

プリンター用紙には次のような特性があります。

印画特性	用紙の種類
TYPE I (Normal = 標準)	UPP-110S
TYPE II (High Density = 高濃度)	UPP-110HD
TYPE V (High Glossy = 高光沢)	UPP-110HG

## プリンター用紙についてのご注意

### 再使用禁止



動作不良の原因となり、印刷結果に悪影響を与えます。

### 未使用のプリンター用紙を保管する場合：

下記の場所に保管してください。下記以外の場所に保管すると、プリンター用紙が変色することがあります。

- ・ 30℃以下の冷暗な場所
- ・ 湿度が低く、日光や室内光が当たらない場所
- ・ アルコールなどの揮発性有機溶剤やセロハンテープ、塩化ビニールなどに触れない場所

### プリンター用紙を取り付ける場合：

- ・ プリンターに取り付ける際にプリンター用紙の表面に触れないよう注意してください。検査用ジェルや指紋、汗、折り目などがつくと印画ムラの原因になります。
- ・ プリンター用紙の先端に付いているラベルをはがしたら、必ず先端の 15～20cm を引き出してください。ラベルの跡が残っていると印画ムラの原因になります。
- ・ 一度取り出したプリンター用紙を再度取り付ける場合には、必ず先端の 15～20cm を引き出してください。ごみなどが付着していると印画ムラの原因になります。

**プリントした用紙を保管する場合：**

- ・ 下記の場所に保管してください。下記以外の場所に保管すると、プリンター用紙が変色したり、プリントした画面が薄くなる場合があります。
  - － 30℃以下の冷暗な場所（可塑性を含まない紙や、ポリプロピレンの袋などにはさんで保管してください。）
  - － 湿度が低く、直射日光や室内光があたらない場所
  - － アルコールなどの揮発性有機溶剤やセロハンテープ、塩化ビニールなどに触れない場所
- ・ ジアゾ式の湿式コピー（青焼）と重ねないでください。また、プリント面どうしを重ねないでください。プリンター用紙が変色したり、プリントした画面が薄くなる場合があります。
- ・ プリンター用紙を接着する場合には、両面テープまたは水性のりをお使いください。

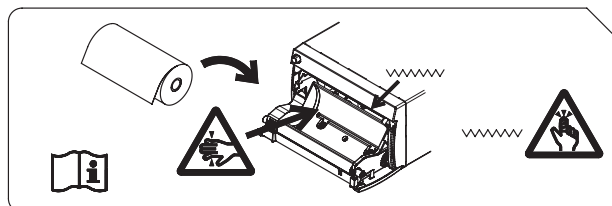
**プリンター用紙を廃棄する場合：**

焼却処分しないでください。

プリンター用紙を破棄するときは、関連した地域または国の法律、および関連した病院の規則にしたがって実施されなければなりません。

## プリンター用紙を取り付ける

本機にプリンター用紙を取り付けるときは、本機に表示されているグラフィックシンボルの注意事項を必ずお守りください。

**注意**

本機には、ペーパーカッターが装備されています。プリンター用紙を取り付ける際、カッター部に触れるとけがの原因となります。充分ご注意ください。

**注意**

プリンター用紙トレイの奥側に指を差し込まないでください。隙間に指を挟んでけがをする恐れがあります。

**注意**

機器内部の回路と患者を同時にさわらないでください。本機の故障時に患者に悪影響を与える電圧が発生する可能性があります。

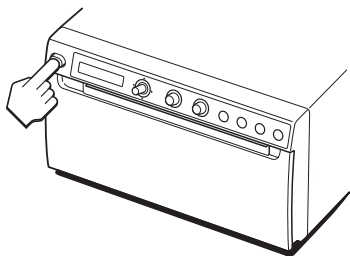
**ご注意**

- ・ プリンター用紙を取り付ける前に、「プリンター用紙について」（14 ページ）をご覧ください。
- ・ プリンター用紙を取り付ける際は、プリンター用紙の表面には触れないでください。検査用ジェルや指紋、汗、折り目などがつくと、印画ムラなど、プリントした画面の品質の低下につながります。
- ・ プリンター用紙には専用の UPP-110S/110HD/110HG 以外は使用しないでください。（14 ページ）
- ・ お使いになる用紙に合わせて、必ず CONFIG. メニューの「-PP.TYPE」の項目を設定してください。（22 ページ）現在選択されているメディアは液晶ディスプレイで確認できます。詳しくは、「現在選択されているプリンター用紙について」（26 ページ）をご覧ください。

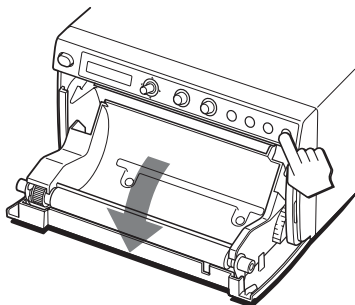
**⚠ 注意**

本機には、ペーパーカッターが装備されています。プリンター用紙を取り付ける際、カッター部に触れるとけがの原因となることがあります。充分ご注意ください。

- 1 電源 ON/OFF スイッチを ON にし、電源を入れる。プリンター用紙が取り付けられていない場合は、液晶ディスプレイのバックライトが橙色に点灯し、「EMPTY」というメッセージが表示されます。



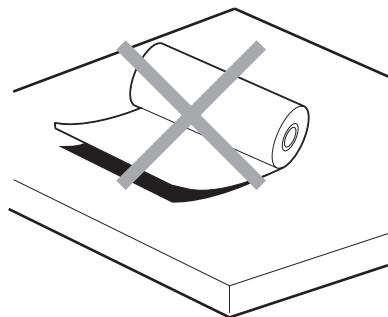
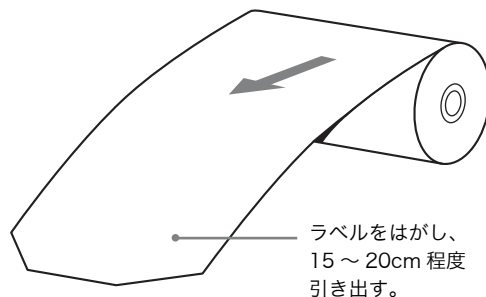
- 2 OPEN ボタンを押して、ドアを開ける。



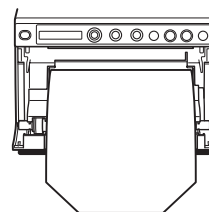
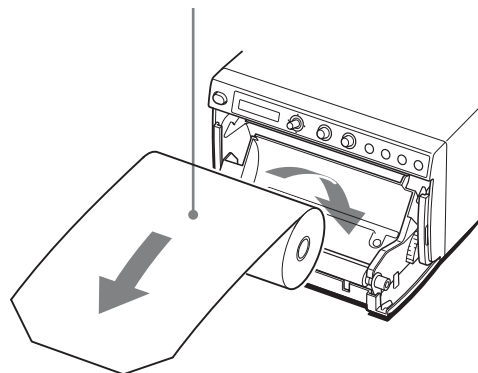
- 3 プリンター用紙の先端についているラベルをはがし、15～20cm 程度引き出してから、プリンター用紙トレイに用紙を入れる。

**ご注意**

プリンター用紙を引き出すときや、トレイ内に入れるときは、プリンター用紙を落としたり、プリンター用紙の表面を下にして机に置いたりしないようお願いしてください。プリンター用紙の表面にごみなどがつき、使用できなくなることがあります。



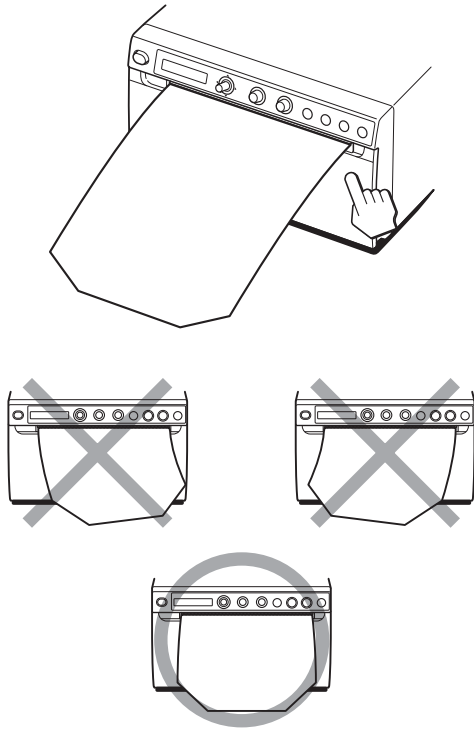
感熱部を上にして入れる。逆に入れるとプリントされない。



プリンター用紙がまっすぐになるように入れる。



#### 4 ドアを手で押して閉める。



#### ご注意

- ・ プリンター用紙が斜めに取り付けられていると、紙づまりなどの原因になります。
- ・ 手順3でプリンター用紙を十分引き出さなかった場合は、プリンター用紙を引っ張らずに、前面パネルのFEED ボタンを押してプリンター用紙を送ってください。

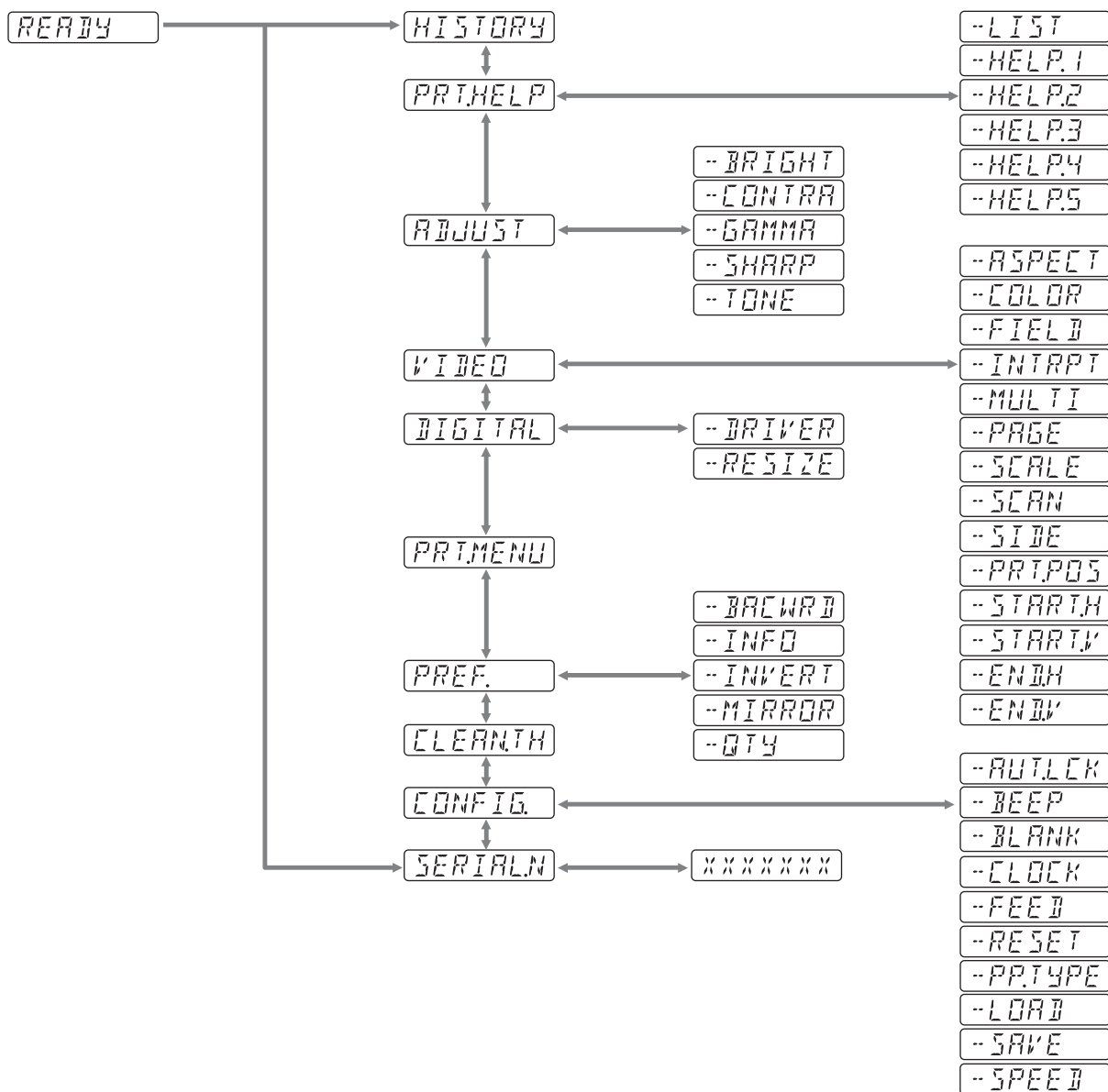
また、設定した内容を、接続する機器や、個人の好みに合わせてあらかじめユーザー設定として3種類まで記憶させておくことができます。

# メニューで行う調節と設定

メニューを使って使用状況に合わせたプリンターの各種調節や設定ができます。設定した内容は、プリンターの電源を切っても保持されます。

## メニューフロー

液晶ディスプレイパネルは、メニューレバーを押すと、以下のフローのようにメニューの表示内容が変わり、各種設定を行うことができます。



## メニュー一覧

メニュー項目の設定内容を一覧表で説明します。  
一覧表の中□で囲んである設定は、初期値です。

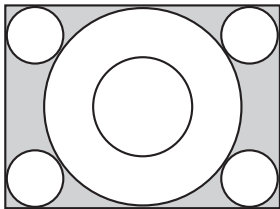
項目	内容	設定
HISTORY	メニュー操作履歴に従い、最近使用したメニューを表示します。最大5個まで表示し、初期は「NO ITEM」と表示されます。	
PRT.HELP	操作方法の説明をプリントします。(英語のみ)	-LIST 操作方法説明の項目一覧をプリントします。
		-HELP.1 「Contrast and Brightness Control」の説明をプリントします。
		-HELP.2 「Print direction and feed control」の説明をプリントします。
		-HELP.3 「Printing two different images on one sheet」の説明をプリントします。
		-HELP.4 「Making Copies of the Last Printout」の説明をプリントします。
-HELP.5 「Storing Image Data on a USB Flash Drive」の説明をプリントします。		
ADJUST	画質調整に関するメニューを表示します。	-BRIGHT 印刷の明るさを調整します。 - 64 ~ □ ~ 64 の範囲で変化します。
		-CONTRA 印刷のコントラストを調整します。 - 64 ~ □ ~ +64 の範囲で変化します。
		-GAMMA ガンマを切り換えます。 -PP.TYPE で P.TYPE:S が選択されている場合は、GAMA1 に固定されます。 GAMA4：最軟調 GAMA3：硬調 □GAMA2：標準 GAMA1：軟調
		-SHARP プリント画の輪郭を強調します。 □ ~ 14 の15段階で輪郭の協調を調整ができます。数値が高いほど輪郭が強調されます。 「0」に設定するとオフになります。初期値は「0」です。
		-TONE 中間調の濃度を調整します。 - 32 ~ □ ~ +32 の範囲でトーンが変化します。
VIDEO	ビデオに関するメニューを表示します。	-ASPECT <sup>a)</sup> アスペクト比を切り換えます。 ASPT:1:1：アスペクト比が1:1の画像をプリントする場合。 □ASPT:4:3：通常はこの状態にしておきます。
		-COLOR 入力信号に従って切り換えます。 COLR:ON：印画するビデオ信号がカラーの場合。 □COLR:OFF：印画するビデオ信号が白黒の場合。
		-FIELD メモリーモードを切り換えます。 FIED:ON：動きの速い画像（ボールがバットに当たる瞬間など）をプリントすると画像がぶれて2重になることがある場合。 □FIED:OFF：通常はこの位置にしておきます。

項目	内容	設定
		<p>-INTRPT      プリント中断時の動作を切り換えます。</p> <p><b>シングルピクチャーモードのとき</b>  INTR:ON：プリント中に再度 PRINT ボタンを押してプリントを中断し、PRINT ボタンを押した瞬間の画像を新たにプリントする場合。  [INTR:OFF]：プリント中に再度 PRINT ボタンを押してもプリントを中断せず、そのプリントが完了した後、PRINT ボタンを押した瞬間の画像をプリントする場合。</p> <p><b>マルチピクチャーモードのとき</b>  INTR:ON：プリント中に再度 PRINT ボタンを押してプリントを中断し、PRINT ボタンを押した瞬間の画像を点滅している位置に取り込む場合。  [INTR:OFF]：プリント中に再度 PRINT ボタンを押してもプリント中断や画像取り込みが無効になる場合。</p>
		<p>-MULTI      1 枚のプリンター用紙にプリントする画像の数を指定します。  MLT：画像を 2 分割してプリントする場合（2 分割画面）。  [SGL]：1 つの画像をプリントする場合（フル画面）。</p>
		<p>-PAGE      PRINT ボタンを押すごとに画像がメモリーに記憶されます。10 回分まで記憶されます。メモリーに保存されている画像を選択してプリントします。  [PG:1]：1 つの画像を選択し、COPY ボタンを押すとプリントします。</p>
		<p>-SCALE      プリントする画像の拡大率を設定します。  1.0 ～ [1.1] ～ 2.0 の範囲で 0.1 きざみで設定します。</p>
		<p>-SCAN <sup>b)</sup>      プリントする画像の範囲を切り換えます。  SC:WD2  [SC:WD1]  SC:NOR  の順にプリントする範囲が広くなります。</p>
		<p>-SIDE <sup>c)</sup>      プリント画の向きを切り換えます。  SIDE:ON：画像を横向きにする場合。  [SIDE:OFF]：画像をモニター画像に映し出されている向きでプリントする場合。</p>
		<p>-PRT.POS      プリントする画像範囲調整用のプリントを行います。</p>
		<p>-START.H      プリントする範囲の水平方向の開始位置を指定します。  S.H：0 ～ [5] ～ 719 (NTSC)  [0] ～ 719 (PAL)</p>
		<p>-START.V      プリントする範囲の垂直方向の開始位置を指定します。  S.V：0 ～ [16] ～ 503 (NTSC)  0 ～ [22] ～ 603 (PAL)</p>
		<p>-END.H      プリントする範囲の水平方向の終了位置を指定します。  E.H：0 ～ [716] ～ 719 (NTSC)  0 ～ [708] ～ 719 (PAL)</p>
		<p>-END.V      プリントする範囲の垂直方向の終了位置を指定します。  E.V：0 ～ [503] (NTSC)  0 ～ [603] (PAL)</p>
DIGITAL	コンピューターからプリントする場合の設定に関するメニューを表示します。	<p>-DRIVER      本機で使用するプリンタードライバーを切り換えます。  [DRV:898]：UP-X898MD、UP-D898MD 用ドライバーで使用する場合。  DRV:897：UP-D897 用ドライバーで使用する場合。</p>
		<p>-RESIZE      拡大してプリントするかしないかを切り換えます。  [RSIZ:OFF]：プリント画像を原寸でプリントする場合。  RSIZ:ON：プリンタードライバー側で設定されている用紙サイズに合わせて拡大して印刷する場合。</p>

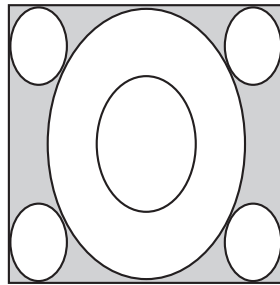
項目	内容	設定	
PRT.MENU	現在の設定値をメニュー一覧でプリントします。	MENU:OK メニューレバーを押すとプリントされます。	
PREF.	プリントアウトの状態を設定するメニューを表示します。	-BACWRD <sup>d)</sup> プリント方向を切り換えます。 BACW:ON: 画像を逆方向で (画面の上から先に) 印刷します。 [BACW:OFF]: 画像を正方向で (画面の下から先に) 印刷します。	
		-INFO 各種情報を画像の下に付加してプリントします。 [INFO:OFF]: 付加しません。 INFO:ADJ: 画質調整値を付加します。 INFO:CLK: 日時情報を付加します。 INFO:STR: 画像のパス名・ファイル名を付加します。	
		-INVERT 白黒反転を切り換えます。 INV:NEG: 白黒反転したプリント画を作成する場合。 [INV:POS]: 白黒反転させずに普通にプリントする場合。	
		-MIRROR 画像の左右を反転させてプリントします。 MIRR:ON: 画像の左右を反転させる場合。 [MIRR:OFF]: 反転させない場合。	
		-QTY プリント枚数を設定します。 QTY:[ ] ~ 10: 同じ画像のプリント枚数を 1 枚から 10 枚の間で設定できます。	
		CLEAN.TH ヘッドのクリーニングをします。	CLEAN:OK メニューレバーを押すとクリーニングを開始します。
		CONFIG.	動作に関する設定をします。
-BEEP 操作音が鳴るか鳴らないかを切り換えます。 設定に関わらずアラーム音は常に鳴ります。 BEEP:OFF: 操作音を鳴らさない場合。 [BEEP:ON]: 操作音を鳴らす場合。			
-BLANK 余白の長さを切り換えます。 BLANK:L: 余白を長くします。 [BLANK:S]: 余白を短くします。 上余白 (BACW:OFF 時)、または下余白 (BACW:ON 時) の長さを切換えます。			
-CLOCK 日時を設定します。 年を設定する: 「Y: XXXX」の表示のときにブライトネスつまみを回して年を合わせ、メニューレバーを押して決定します。 同様に、月、時、分、秒を設定します。 やり直す場合は、メニューレバーを左へたおします。 初期値は世界標準時が設定されています。			
-FEED プリント後のプリンター用紙の送り長さを切り換えます。 [FEED:ON]: プリント後に余白をつけてプリンター用紙を送る場合。 FEED:OFF: 余白を少なくする、または複数枚カットせずにまとめてプリントする場合。 プリンター用紙 1 枚当たりの余白が少ないので、用紙の 1 巻あたりの印画枚数を多くとることができます。ただし、ペーパーカット時は FEED ボタンを押してから、用紙をカットしてください。			
-RESET 各メニュー項目の設定を初期値に戻します (初期化)。 [RESET:OK]: 初期値に戻します。			

項目	内容	設定
-PP.TYPE		使用するプリンター用紙を選択します。 <u>P.TYPE:HG</u> : UPP-110HG の場合。 P.TYPE:HD : UPP-110HD の場合。 P.TYPE:S : UPP-110S の場合。
-LOAD		登録されているメニュー設定を呼び出します。 LOAD:3 : SAVE で保存した番号 3 の設定を呼び出す場合。 LOAD:2 : SAVE で保存した番号 2 の設定を呼び出す場合。 <u>LOAD:1</u> : SAVE で保存した番号 1 の設定を呼び出す場合。
-SAVE		メニューの設定値を 3 通り登録します。 SAVE:3 : 設定番号 3 として登録する場合。 SAVE:2 : 設定番号 2 として登録する場合。 <u>SAVE:1</u> : 設定番号 1 として登録する場合。
-SPEED		プリンターの印画スピードを切り換えます。 使用しているプリンター用紙が UPP-110HD の場合は、HI : 高速プリントは選べません。 <u>HI</u> : 高速でプリントする場合。 NOR : 標準のスピードでプリントする場合。
SERIAL.N	製品のシリアルナンバー情報を表示します。	

a) アスペクト比は以下のようになります。

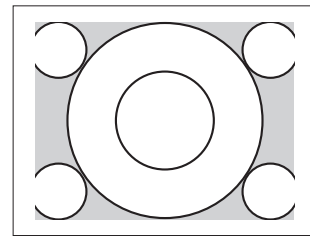


「ASPT:4:3」の場合

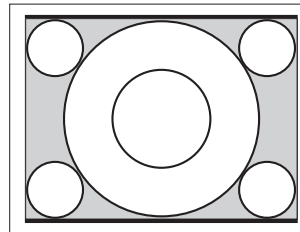


「ASPT:1:1」の場合

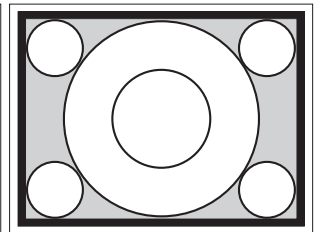
b) プリントする範囲は以下のようになります。



「SC:NOR」の場合



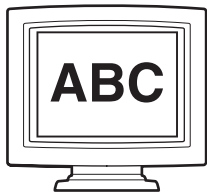
「SC:WD1」の場合



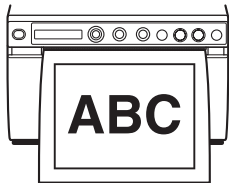
「SC:WD2」の場合

c) プリント画の向きは以下のようになります。

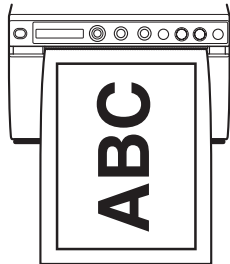
モニター画面に映し出されている画像



プリント画

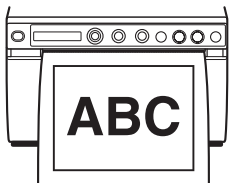


「SIDE:OFF」の場合

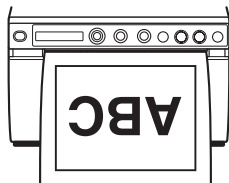


「SIDE:ON」の場合

d) プリント方向は以下のようになります。



「BACW:OFF」の場合



「BACW:ON」の場合

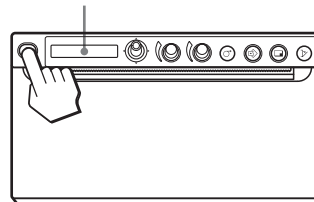
## メニューの操作方法

ここでは、プリント方向の設定を例にとって、メニューの基本操作を説明します。

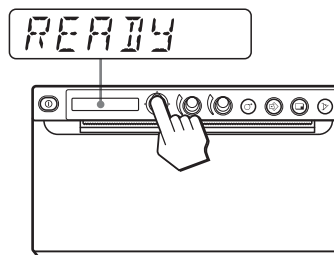
**1** 電源 ON/OFF スイッチを ON にし、電源を入れる。

液晶ディスプレイのバックライトが緑色に点灯します。

液晶ディスプレイ

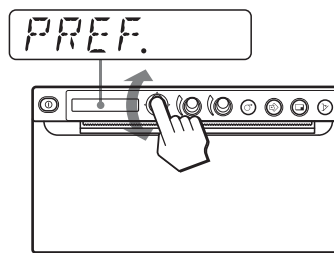


**2** 液晶ディスプレイに「READY」が表示されていることを確認し、メニューレバーを押す。



メニューモードに入ります。  
液晶ディスプレイに、メニュー項目が表示されます。

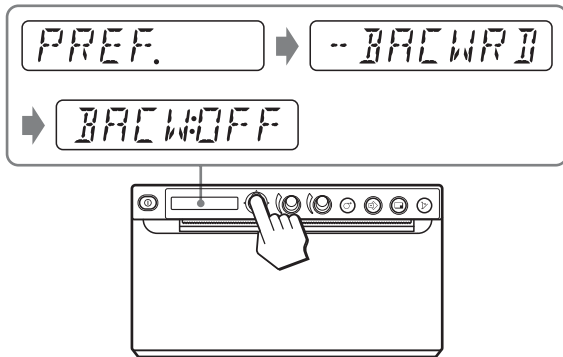
**3** メニューレバーを上下にたおして、「PREF.」を表示させる。



**4** メニューレバーを押すか右へたおす。  
プリントアウトの状態を設定するメニューに入ります。  
メニュー名の先頭にハイフン「-」が付いて表示されます。

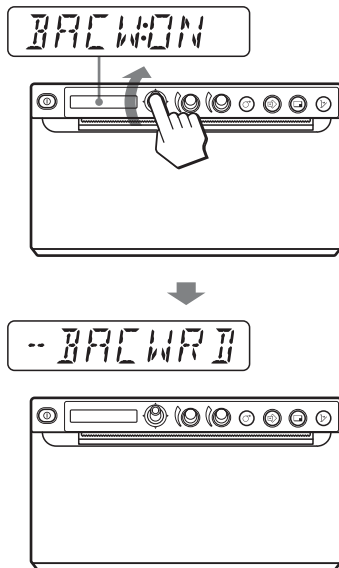
**5** メニューレバーを上下にたおして、「-BACWRD」を表示させる。

## 6 メニューレバーを押すか右にたおす。



プリント方向の設定モードに入ります。  
液晶ディスプレイには、工場出荷時の設定「BACW:OFF」が表示されています。「BACW:OFF」が現在の設定です。  
この設定を「BACW:ON」に変更します。

## 7 メニューレバーを上にしたおして「BACW:ON」を表示させ、メニューレバーを押す。



プリント方向として、「BACW:ON」が登録されます。  
液晶ディスプレイの表示は「-BACWRD」に戻ります。

### ご注意

メニュー項目、または設定を表示させてから、メニューレバーを押さずに約 20 秒たつと、「READY」表示に戻り、メニューモードから抜けます。  
この場合は、BACWRD の設定は変更されません。

### 設定をキャンセルするには

手順 7 でメニューレバーを左へたおして、手順 5 または手順 3 の表示に戻ります。

### 引き続きメニュー操作を行うには

手順 3 ～ 7 を繰り返して残りの項目を設定します。

### メニュー操作を終了するには

手順 7 の後、メニューレバーを左にたおして、「READY」を表示させます。

本機は、メニューモードから抜けます。

### メニュー操作のロック機能について

メニューレバーを押したときにアラーム音が鳴り、液晶ディスプレイに「LOCK」と表示された場合、メニュー操作機能がロックされメニューレバーが働きません。メニュー操作を行いたい場合は、お近くの代理店、またはソニー営業担当者にお問い合わせください。

## メニューの設定値を登録する

メニューで設定した値をプリンターに登録して、あとから呼び出すことができます。3 通りの設定内容を登録することができます。

登録された設定値は、プリンターの電源を切っても保持されます。

### ご注意

プリンターを初めてお使いになるときは、工場出荷時の値がすべての番号にあらかじめ登録されています。

### 設定内容を登録するには

- 1 すべての項目を希望の値に設定する。
- 2 メニューレバーを上下にたおして、「CONFIG.」を表示させ、メニューレバーを押すか右にたおす。  
プリンターの動作に関する設定を行うメニューに入ります。
- 3 メニューレバーを上下にたおして、「-SAVE」を表示させ、メニューレバーを押すか右にたおす。  
「SAVE:1」のように番号が表示されます。
- 4 メニューレバーを上下にたおして希望の番号を選び、メニューレバーを押す。  
手順 1 で設定した値が手順 4 で選んだ番号に登録されます。



## 設定内容呼び出すには

登録した設定内容呼び出します。

- 1 液晶ディスプレイに「READY」が表示されていることを確認して、メニューレバーを押す。
- 2 メニューレバーを上下にたおして、「CONFIG.」を表示させ、メニューレバーを押すか右にたおす。
- 3 メニューレバーを上下にたおして、「-LOAD」を表示させ、メニューレバーを押すか右にたおす。「LOAD:1」のように番号が表示されます。
- 4 メニューレバーを上下にたおして希望の設定内容の番号を選び、メニューレバーを押す。  
手順4で選んだ番号の設定が呼び出されます。

### 呼び出した番号の設定値を変更した場合

プリンターは設定し直した値で動作します。この場合は、電源を切っても新たに別の番号を呼び出さない限り、電源を切る前の設定でプリンターは動作します。別の番号を呼び出した場合は、修正した内容は消えてしまいます。

### 変更した内容を残して保存するには

例：設定1を呼び出して変更し、設定1はそのまま残しておき、変更した設定値を設定2として登録します。

- 1 「設定内容呼び出すには」の手順で、「LOAD:1」を呼び出す。
- 2 メニュー項目を必要に応じて変更する。
- 3 「設定内容を登録するには」の手順で「SAVE:2」を選択する。
- 4 メニューレバーを押す。  
手順2で変更した設定値が設定2の設定値として登録されます。

---

## メニュー一覧をプリントする

現在のメニュー設定をプリントできます。

- 1 メニューレバーを押す。  
メニュー項目が表示され、メニューモードに入ります。
- 2 メニューレバーを上下にたおして、「PRT.MENU」を表示させ、メニューレバーを押すか右にたおす。

- 3 「MENU:OK」と表示されているのを確認して、メニューレバーを押す。  
現在のメニュー設定のプリントが開始されます。液晶ディスプレイに「PRT.MENU」が表示されず。
- 4 メニューレバーを左にたおす。  
「READY」が表示され、通常モードに戻ります。

# プリントする

## ビデオ機器からの画像をプリントする

プリントする前に次のことを確認してください。

- ・接続は正しいですか？（13 ページ）
- ・プリンター用紙は正しく取り付けられていますか？（15 ページ）
- ・メニューでの調節は済んでいますか？（18 ページ）
- ・ビデオ信号が入力されていますか？

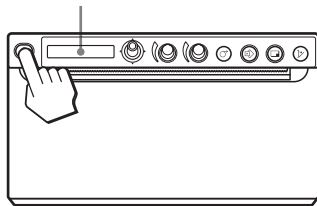
## プリントする

本機では、メニューを使って、プリント面の向きや大きさ、プリント方法などが設定できます。

ここでは、これらの各種設定が済んだあとの操作について説明します。

- 1 電源 ON/OFF スイッチを ON にし、電源を入れる。液晶ディスプレイのバックライトが緑色に点灯します。「READY」が表示されます。

液晶ディスプレイ



- 2 ビデオ機器などの入力源からの画像をモニターに映し出す。
- 3 プリントしたい画像が映っているときに、PRINT ボタンを押す。  
押した瞬間の画面がプリントされます。  
PRINT ボタンを押した瞬間の画像は、メモリーに保存されます。10 枚まで保存され、10 枚を超えると一番最初に取り込んだ画像から書ききされていきます。

## 液晶ディスプレイにメッセージが表示された場合

異常が起これると、液晶ディスプレイのバックライトが橙色に点灯し、以下のメッセージが表示されます。

メッセージ	意味
EMPTY:XX	用紙が入っていません。用紙を入れてください。
DOOR:XX	ドアが開いています。きちんと閉めてください。

XX は選択されているプリンター用紙を示します。

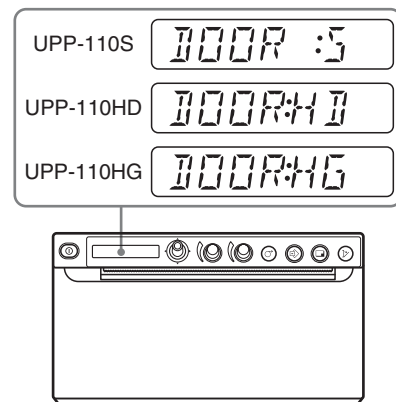
「S」は UPP-110S の略、「HD」は UPP-110HD の略、「HG」は UPP-110HG の略です。

## プリント中にプリントしなくなった場合

真っ黒に近い画像を連続してプリントし続けると、液晶ディスプレイに「COOLING」というメッセージが表示され、プリントしなくなる場合があります。これは、サーマルヘッドの温度上昇をふせぐためです。メッセージが消えるまでお待ちください。

## 現在選択されているプリンター用紙について

液晶ディスプレイ上で、現在使用しているプリンター用紙を確認できます。OPEN ボタンを押してドアパネルを開けると、ディスプレイ右端に選択されているプリンター用紙の種類が表示されます。



## プリント画がぶれていたら

速く動いている画像を取り込むと、画像がぶれてしまうことがあります。このとき、メニューの「-FIELD」の設定を「FIED:ON」に変えてプリントすることにより、プリント画からぶれを取り除くことができます。この場合、解像度が少し落ちます。

## メモリーに記憶されている画像を呼び出してプリントするには

PRINT ボタンを押すごとに画像がメモリーに記憶されます。10 回分の画像がメモリーに記憶されていき、上書きされていきます。

常に、メモリーには、10 枚分の画像が記憶されています。この画像を呼び出してプリントできます。

- 1 メニュー項目の「-PAGE」を選択する。  
メニュー操作については、「メニューの操作方法」(23 ページ)をご覧ください。
- 2 メニューレバーを押す。  
液晶ディスプレイには、「PAGE:1」が表示されます。  
「PAGE」の数が増えるに従い、古い画像になります。
- 3 メニューレバーを上下にたおして、プリントしたい PAGE の番号を表示させる。
- 4 メニューレバーを押す。  
手順 3 で選択した画像がプリントされます。

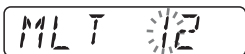
### ご注意

「-PAGE」で選択した画像は、COPY ボタンではプリントできません。

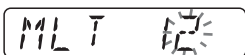
## 1 枚に 2 画面をプリントするには

メニューの「VIDEO」の「-MULTI」項目を「MU:MLT」に設定しておくこと異なる 2 つの画像を取り込んで 1 度にプリントできます。

- 1 メニューの「-MULTI」を「MU:MLT」に設定する。  
メニューから抜けると、液晶ディスプレイの表示がマルチピクチャーモードに切り換わり、1 が点滅します。



- 2 [ビデオ機器からの画像をプリントする] の手順 3 (26 ページ) で PRINT ボタンを押す。  
そのときの画像が取り込まれ、点滅している番号 1 で登録されます。液晶ディスプレイでは 2 が点滅します。



- 3 再度、プリントしたい画像が映っているときに、PRINT ボタンを押す。  
その時の画像が番号 2 に登録され、プリントが開始されます。



手順 2 で取り込んだ画像      手順 3 で取り込んだ画像

メニューの「PREF.」の「-INFO」を「INFO:ADJ」に設定した場合、プリント情報のコントラストとブライトについては、手順 3 で取り込んだ画像の情報がプリントされます。

## プリント画の向き/大きさを選択する

「VIDEO」メニューの以下の項目を使ってプリント画の向き、大きさを選択できます。

- -SIDE：プリント画の向きを選択します。
- -SCALE：プリント画を拡大します。
- -PRT.POS：プリントする画像範囲調整用のプリントを行います。
- -START.H、-START.V：プリントする範囲の開始位置を指定します。
- -END.H、-END.V：プリントする範囲の終了位置を指定します。

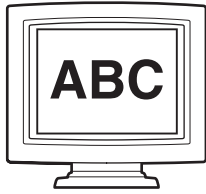
### プリント画の向きを決めるには

メニューの「-SIDE」でモニター画面の向きか、横向きかを選択できます。

画像をモニター画面に映し出されている向きでプリントする場合：「SIDE:OFF」を選択します。

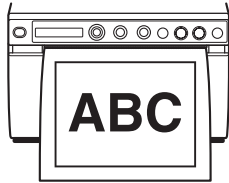
画像を横向きにするとき：「SIDE:ON」を選択します。

モニター画面に映し出されている画像

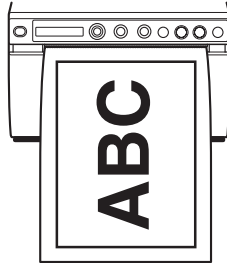


プリント画

「SIDE:OFF」の場合



「SIDE:ON」の場合



### 画像の大きさを決めるには

メニュー項目の「-SCALE」で画像を拡大したり、縮小したりできます。

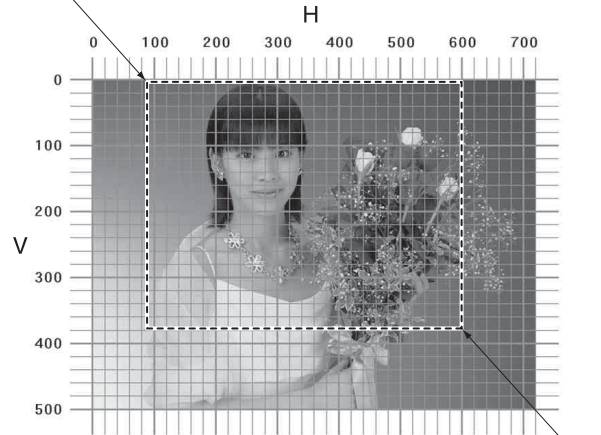
最大 2 倍の大きさ、最小 1.0 倍の大きさに 0.1 刻みで設定できます。

### プリントする範囲の位置を決めるには

- 1 メニュー項目「VIDEO」「-PRT.POS」「P.POS:OK」の表示で、メニューレバーを押して座標線の入ったプリント範囲調整用のプリントを行う。
- 2 プリント結果より、プリント開始の座標値とプリント終了の座標値を読み取る。
- 3 「START.H」表示からメニューレバーを 1 回右へたおして「S.H:」を表示させ、メニューレバー左右操作でプリント開始の水平方向座標値を入力する。
- 4 「START.V」表示からメニューレバーを 1 回右へたおして「S.V:」を表示させ、メニューレバー左右操作でプリント開始の垂直方向の座標値を入力する。
- 5 「END.H」表示からメニューレバーを 1 回右へたおして「E.H:」を表示させ、メニューレバー左右操作でプリント開始の水平方向座標値を入力する。
- 6 「END.V」表示からメニューレバーを 1 回右へたおして「E.V:」を表示させ、メニューレバー左右操作でプリント開始の垂直方向の座標値を入力する。

- 7 メニューレバーを左に数回たおして「READY」表示にし、PRINT ボタンを押してプリントを行い、指定の範囲がプリントされていることを確認する。

始点 (START.H, START.V)



終点 (END.H, END.V)

## コンピューターからプリントする

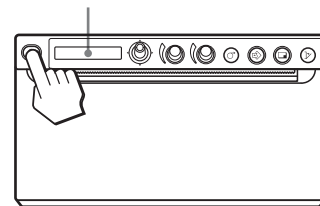
プリントする前に次のことを確認してください。

- ・接続は正しいですか？ (13 ページ)
- ・プリンタードライバーをインストールしましたか？ (14 ページ)
- ・プリンター用紙は正しく取り付けられていますか？ (15 ページ)
- ・メニューでの調節は済んでいますか？ (18 ページ)

## プリントする

- 1 電源 ON/OFF スイッチを ON にし、電源を入れる。液晶ディスプレイのバックライトが緑色に点灯します。「READY」が表示されます。

液晶ディスプレイ



- 2 アプリケーションソフトでプリントの操作する。

## 液晶ディスプレイにメッセージが表示された場合

異常が起これると、液晶ディスプレイのバックライトが橙色に点灯し、以下のメッセージが表示されます。

メッセージ	意味
EMPTY:XX	用紙が入っていません。用紙を入れてください。
DOOR:XX	ドアが開いています。きちんと閉めてください。

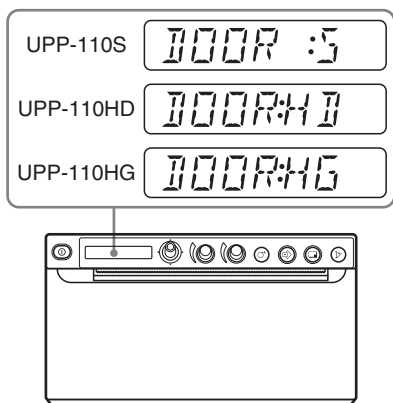
XX は選択されているプリンター用紙を示します。「S」は UPP-110S の略、「HD」は UPP-110HD の略、「HG」は UPP-110HG の略です。

## プリント中にプリントしなくなった場合

真っ黒に近い画像を連続してプリントし続けると、液晶ディスプレイに「COOLING」というメッセージが表示され、プリントしなくなる場合があります。これは、サーマルヘッドの温度上昇をふせぐためです。メッセージが消えるまでお待ちください。

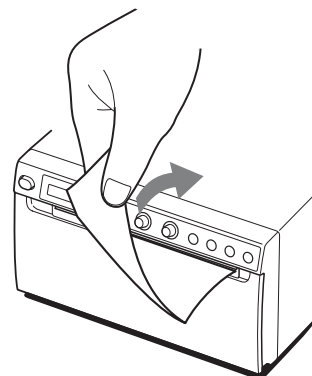
## 現在選択されているプリンター用紙について

液晶ディスプレイ上で、現在使用しているプリンター用紙を確認できます。OPEN ボタンを押してドアパネルを開けると、ディスプレイ右端に選択されているプリンター用紙の種類が表示されます。



## プリントされた紙を切る

紙の端をつまんで、上方向に弧を描くようにして切りま  
す。



### ご注意

プリンター用紙を横方向に引いて切ると、本機内のプリンター用紙が傾いて、次のプリントが正しくできない場合があります。

プリンター用紙が傾いている場合には、正しく取り付け直してください。(15 ページ)

## プリントを中断するには

プリント中に、OPEN もしくは FEED ボタンを押します。プリント動作が止まります。

## 同じ画像をもう1度プリントするには

COPY ボタンを押します。最後にプリントした画像と同じものがプリントされます。この場合、プリント枚数の設定にかかわらず、1枚だけプリントされます。

### ご注意

- 電源を入れた直後など、プリンターに画像が記憶されていない状態で COPY ボタンを押すと、アラームブザーが鳴り、コピーできません。
- 電源を切ると、保存された画像は消えてしまいます。

### 同じ画像を連続してコピーするには

COPY ボタンを押して、1枚目をプリント中に COPY ボタンを押します。COPY を押したときにブザーがピッと鳴り、COPY ボタンを押した数だけ、連続してコピーできます。枚数は、最初の1枚を含めて最大20枚までです。

### ご注意

この最大枚数は、PRINT ボタンを押してプリントした枚数も含まれます。例えば、5回 PRINT ボタンを押してプリントした後、最後に PRINT ボタンを押してプリントしたものを COPY ボタンを押して連続コピーする場合、最大枚数は15枚となります。

### 途中で止めるには

プリント中に、OPEN もしくは FEED ボタンを押します。

### 画像の向き/大きさを変えてコピーするには

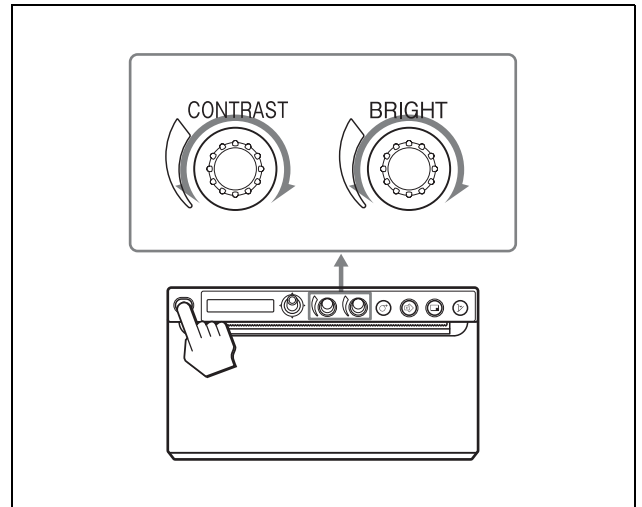
最後にプリントしたビデオ画像を違う向き/大きさにコピーすることができます。「プリント画の向き/大きさを選択する」(27ページ)で向き/大きさを選んでから COPY ボタンを押します。

## プリンター用紙を送るには

FEED ボタンを押します。押している間、プリンター用紙が送られます。プリンター用紙は引っ張らないでください。

## 明るさやコントラストを調節する

本機前面の CONTRAST つまみ/BRIGHT つまみを使ってプリント画の明るさとコントラストを調節できません。



### コントラストを調節するには

プリンター前面の CONTRAST つまみを使って調節します。

**コントラストを強くするには：** CONTRAST つまみを時計方向に回します。最大値は64です。

**コントラストを弱くするには：** CONTRAST つまみを反時計方向に回します。最小値は-64です。

### ご注意

コンピューターからプリントする場合、コントラスト機能はプリンタードライバーの濃度調整にある「Light」と同等の機能として働きます。この「Light」の設定値を基準として、コントラストの設定値が合成(加算)されます。

### 明るさを調節するには

プリンター前面の BRIGHT つまみを使って調節します。

**明るくするには：** BRIGHT つまみを時計方向に回します。最大値は64です。

**暗くするには：** BRIGHT つまみを反時計方向に回します。最小値は-64です。

### つまみをロックするには

CONTRAST つまみと BRIGHT つまみが不用意に回って設定が変わってしまわないように、つまみをロックすることができます。

**ロックをするには：** メニューレバーを約3秒間長押ししてください。液晶ディスプレイに LOCK と表示され、つまみを回しても数字が変化しなくなります。

ロックを解除するには：再度メニューレバーを長押ししてください。液晶ディスプレイに UNLOCK と表示され、ロックが解除されます。

# USB フラッシュメモリーに画像データを保存する



## 警告

このコネクタは絶縁されていません。ご使用にあたっては、本機からのみ電源を供給して動作する USB フラッシュメモリー以外の接続は禁止します。交流電源で動作する機器を接続されると、接続した機器から漏洩電流が流入し、患者や操作者に対して感電の危険があります。

本機リアパネルの USB 端子（タイプ A）に USB フラッシュメモリーを差し込んでおくと、本機で取り込んだ画像データをプリントする際に、その画像データを USB フラッシュメモリーにビットマップ形式の画像ファイルとして保存します。この USB フラッシュメモリーに取り込んだ画像ファイルを、USB 端子（タイプ A）装備のコンピュータを使って見ることができます。

## 画像ファイルが保存されるフォルダについて

画像ファイルは、USB フラッシュメモリーのフォルダ ¥¥SONY¥UP-X898¥SN.[ 本体シリアル番号 ] の中に保存されます。フォルダが存在しない場合は生成します。

## 画像ファイル名について

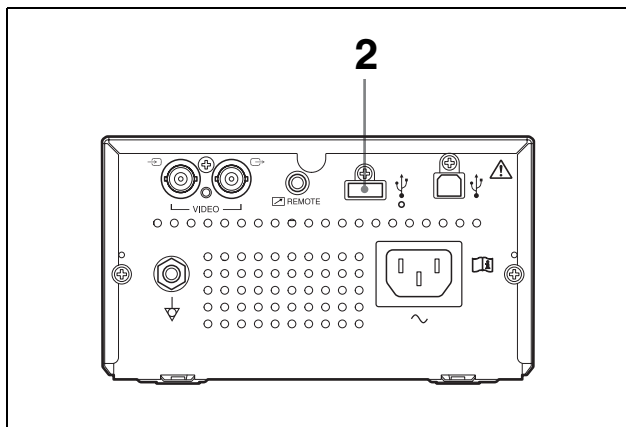
PRINT ボタンを押して、プリントする毎に、画像ファイルに UP\_000000.bmp から UP\_999999.bmp まで、順に、番号をつけられ、ビットマップの画像ファイルとして、USB フラッシュメモリーに保存されていきます。分割画面の場合もそれぞれの画面が 1 つのファイルとなります。新しい画像をプリントする場合にのみ保存されます。1 度プリントしたものは、保存されません。また、ファイルには日付け情報が付きます。

## 正確な日付け情報を付けるには

日付け・時刻の設定が必要です。(21 ページ)

## ご注意

ソニー製 USB フラッシュメモリー以外の USB デバイスはご使用にならないでください。



- 1 モニターとプリンターの電源スイッチを入れる。
- 2 USB 端子に USB フラッシュメモリーを差し込む。
- 3 VIDEO 信号をプリントする場合は、PRINT ボタンを押す。  
コンピューターの画像データをプリントする場合は、コンピューターからプリント指示をする。  
プリントが開始されます。  
プリント完了と同時に、USB フラッシュメモリーに画像データが書き込まれます。書き込まれている間は、LCD に「STORING」と表示されます。画像データの保存は終了すると、「STORING」表示が消えます。

### USB フラッシュメモリーを取りはずすには

LCD に「STORING」と表示されている間は、データを書き込んでいます。このとき、USB フラッシュメモリーを取りはずすと、画像データが正常に保存されないだけでなく、USB フラッシュメモリーのデータが壊れる可能性がありますので、ご注意ください。

### LCD に「NO.SPACE」と表示された場合

USB フラッシュメモリーが一杯になったか最大数の画像データが保存され、これ以上書き込むことはできません。コンピューター上で不要なファイルを消去するか、新しい USB フラッシュメモリーと交換してください。

## ご注意

- ・ 本機の USB 端子 (タイプ A) は USB フラッシュメモリー専用の端子です。外部より電源供給するハードディスクなどの USB デバイスは絶対につながないでください。故障の原因となります。

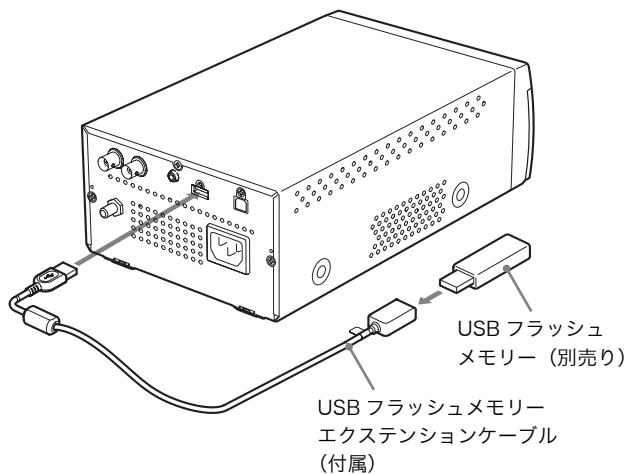
- ・ USB 端子 (タイプ A) から電源供給するものであっても、500mA を超える電流を一時的にでも必要とする USB デバイスは絶対につながないでください。
- ・ 保存ファイルの形式は BMP のみに対応しています。
- ・ USB フラッシュメモリーに保存された画像データを読み出して、再度本機でプリントすることはできません。
- ・ 本機は、USB フラッシュメモリーに画像の保存はできますが、読み出し、消去はできません。読み出し、消去は、USB 端子 (タイプ A) を装備するコンピューター上で行ってください。
- ・ USB フラッシュメモリーに既存のファイルは、あらかじめコンピューターなどにバックアップしてください。万一、本機で使用中に USB フラッシュメモリーに記録されているファイルの破損や消失などが起きた場合の補償はいたしかねます。

### USB 端子 (タイプ A) をお使いになる場合のご注意

- ・ USB マスストレージに対応しています。(すべてのタイプの USB フラッシュメモリーの動作を保証するものではありません。)
- ・ ハブを介しての USB 端子 (タイプ A) と USB フラッシュメモリーの接続は保証していません。
- ・ USB Hi-Speed に対応しています。
- ・ 対応するファイルシステムは FAT16 と FAT32 です。
- ・ USB フラッシュメモリーにロック機能が付いている場合は、ロックを外してからお使いください。
- ・ 2 つ以上のドライブを持つ USB フラッシュメモリーはお使いになれません。
- ・ 暗号化など、特殊な機能を持つ USB フラッシュメモリーには対応しておりません。

### 本体リアパネルの USB 端子 (A タイプ) に USB フラッシュメモリーをつなぎにくいときには

付属の USB フラッシュメモリーエクステンションケーブルを使ってください。





## ご注意

本機専用の USB フラッシュメモリーエクステンションケーブル以外のケーブルはご使用にならないでください。他の USB 延長ケーブル類をご使用になった場合、画像ファイルの書き込みの失敗や、USB フラッシュメモリーに保存されているファイルの破壊、USB フラッシュメモリー本体の故障の原因となることがあります。

## 本機の性能を保持するために

### 電源について

- ・ 電源は AC100V をお使いください。
- ・ 3 極 → 2 極変換プラグはご使用にならないでください。
- ・ 電源コードは傷つけないでください。
- ・ 長い間使わないときは、電源コードを抜いておいてください。
- ・ 電源コードを抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。

### 安全のために

- ・ キャビネットは絶対に開けないでください。内部に触れると危険です。
- ・ 内部にものを落とさないでください。

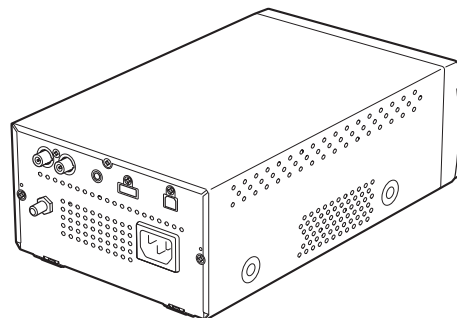
#### ⚠ 注意

- ・ 本機には、ペーパーカッターが装備されています。プリンター用紙を取り付ける際、カッター部に触れるとけがの原因となることがあります。十分ご注意ください。

### 置き場所について

- ・ 水平な場所に置いてください。傾けた状態で本機を使用すると故障の原因になります。
- ・ 暑い所や湿気の多い所に置かないでください。
- ・ 湿気の低い冬場では、湿度 35% 以上の環境で使うことをおすすめします。
- ・ 結露にご注意ください。  
本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなど、機器表面や内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露が起きたときは電源を切り、結露がなくなるまで放置し、結露がなくなってからご使用ください。結露時のご使用は機器の故障の原因となる場合があります。
- ・ プリンター内部の温度上昇を防ぐために、プリンター周囲はスペースを十分に空けてください (10cm 以上)。

プリンター左右側面と裏面にある通気孔を塞がないように注意して設置してください。



### 持ち運びについて

- ・ ぶつけたり、落としたりしないように気をつけてください。
- ・ 持ち運びの際は、プリンター用紙を取り外してください。プリンター用紙を取り付けたまま持ち運ぶと故障の原因になることがあります。

### バッテリーについて

本機には時計を動作させるためのバッテリーが内蔵されています。このバッテリーは有寿命部品として定期的な交換が必要です。

常温でご使用の場合、5年を目安に交換してください。ただし、交換時期は目安であり、バッテリーの寿命を保証するものではありません。交換の際はソニーのサービス窓口または営業担当者にご相談ください。

# お手入れ

## キャビネットのクリーニング

キャビネットの汚れはベンジンやシンナー、酸性洗浄液、アルカリ性洗浄液、研磨剤入り洗浄液、化学ぞうきんなどで拭くと表面の仕上げを痛めたりすることがありますので、以下のことをお守りください

- ・ 本体表面の清掃は、濃度 50～70v/v% のイソプロピルアルコール、または濃度 76.9～81.4v/v% のエタノールで清拭してください。
- ・ 汚れがひどいときには、クリーニングクロスなど柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を少し含ませて拭き取った後、上記薬液を用いて清拭してください。
- ・ 布にゴミが付着したまま強く拭かないでください。本体表面に傷がつくことがあります。
- ・ 本体表面にゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

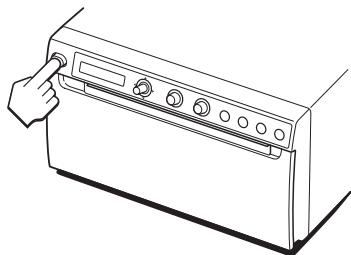
## ヘッドのクリーニング

プリント画に白いスジが生じたら、付属のヘッドクリーニングシートでヘッドをきれいにしてください。ヘッドのクリーニングは、メニューを使用します。

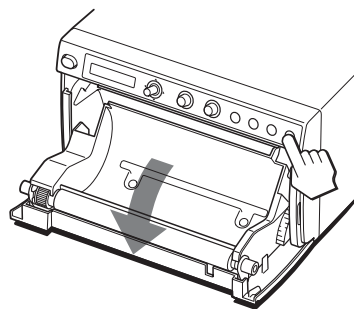
### ⚠ 注意

本機には、ペーパーカッターが装備されています。ヘッドをクリーニングする際、カッター部に触れるとけがの原因となることがあります。十分ご注意ください。

- 1 電源 ON/OFF スイッチを ON にし、電源を入れる。



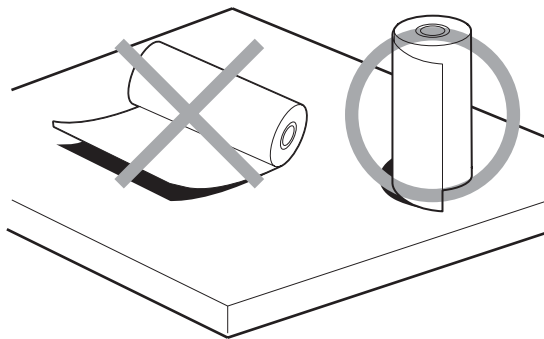
- 2 OPEN ボタンを押し、ドアを開ける。



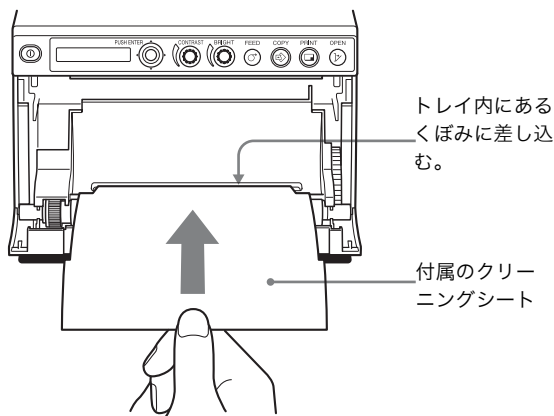
プリンター用紙が入っていたら取り出してください。

### ご注意

取り出したプリンター用紙の表面が他の物に接触しないように気をつけてください。プリンター用紙表面にごみなどがつき、正常なプリントができなくなることがあります。



- 3 付属のヘッドクリーニングシートの黒い面を下にして、トレイ内にあるくぼみに差し込む。



- 4 ドアを手で押して閉める。
- 5 メニューレバーを押す。  
メニュー項目が表示されます。

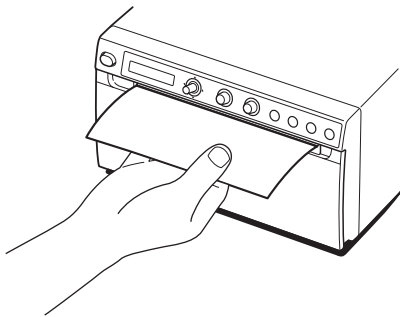
- 6 メニューレバーを上下にたおして、「CLEAN.TH」を表示させ、メニューレバーを押す。
- 7 「CLEAN:OK」が表示されていることを確認し、メニューレバーを押す。  
ヘッドのクリーニングが開始されます。  
液晶ディスプレイには「CLEAN」が表示されます。  
クリーニングシートが止まり、アラーム音が鳴ったら、クリーニングが終了です。
- 8 OPEN ボタンを押してドアを開け、ヘッドクリーニングシートを取り除く。
- 9 ドアを手で押して閉める。

**ご注意**

ヘッドクリーニングシートは必要に応じてお使いください。ヘッドのクリーニングを頻繁に行うと、故障の原因になる場合があります。

**プラテンローラーのクリーニング**

プラテンローラーが汚れると、プリンター用紙がスムーズに送られなくなり、紙詰まりや印画ムラが発生することがあります。電源 ON/OFF スイッチを ON にして電源を入れ、FEED ボタンを 1 秒ほど押して、プリンター用紙を少し送ってください。送った用紙が手で簡単に引き出せる場合は、プラテンローラーが汚れています。

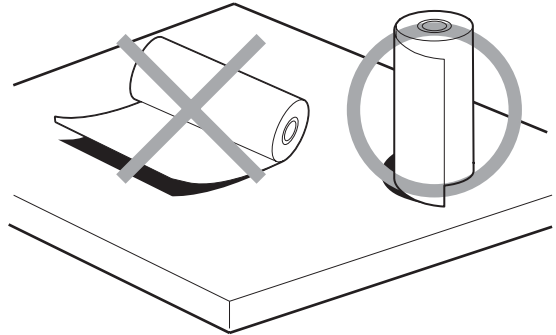


プラテンローラーが汚れたら、濃度 76.9 ~ 81.4v/v% のエタノールで湿らせた柔らかい布でプラテンローラーの汚れを拭き取ってください。

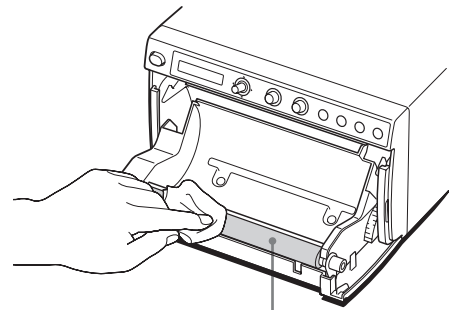
- 1 電源 ON/OFF スイッチを ON にし、電源を入れる。
- 2 OPEN ボタンを押し、ドアを開ける。  
プリンター用紙が入っていたら取り出してください。

**ご注意**

取り出したプリンター用紙の表面が他の物に接触しないように気をつけてください。プリンター用紙表面にごみなどがつき、正常なプリントができなくなることがあります。



- 3 エタノールで湿らせた柔らかい布でプラテンローラーを軽く拭く。

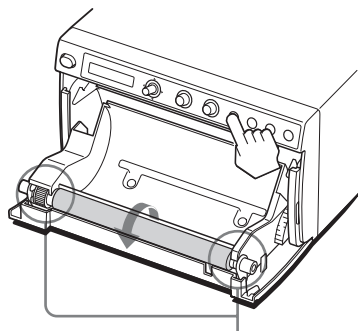


プラテンローラー

**ご注意**

- ・ 拭いた面が完全に乾いてから、プラテンローラーを回して他の部分を拭いてください。
- ・ プラテンローラーは手で回さないでください。必ず FEED ボタンを使って回してください。FEED ボタンを押すと、プラテンローラーが自動的に回ります。
- ・ 本機には、ペーパーカッターが装備されています。カッター部に触れるとけがの原因となることがあります。充分ご注意ください。

- 4 FEED ボタンを押す。  
プラテンローラーが約 120 度回転します。



プラテンローラーが回転しているとき、指を挟まれないようご注意ください。

#### ご注意

- ・ プラテンローラーが回転しているとき、指を挟まれないようご注意ください。
- ・ 必ず、プラテンローラーが停止してからクリーニングを開始してください。

- 5 手順 3、4 を繰り返して、プラテンローラーの全表面をクリーニングする。

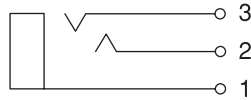
- 6 プラテンローラーが乾いてからドアを手で押して閉める。

## 主な仕様

電源	AC100 V、50/60 Hz
入力電流	1.3 A
動作環境	温度：5 °C～40 °C 湿度：20%～80% 気圧：700 hPa～1,060 hPa
輸送保存環境時	温度：-20 °C～+60 °C 湿度：20%～80% 気圧：700 hPa～1,060 hPa
最大外形寸法	154 × 88 × 240 mm (幅 / 高さ / 奥行き)
質量	2.5 kg (本体のみ)
感熱ヘッド	薄膜サーマルヘッド 1280 ドット
階調数	256 階調 (8 ビット)
解像度 (「VIDEO」→「-SCAN」が「SC:WD1」のとき)	NTSC：720 × 504 ドット PAL：720 × 604 ドット
画面寸法 (「VIDEO」→「-SCAN」が「SC:WD1」のとき)	「VIDEO」→「-SIDE」が「SIDE:OFF」の場合 NTSC：94 × 73 mm PAL：94 × 71 mm
	「VIDEO」→「-SIDE」が「SIDE:ON」の場合 NTSC：124 × 96 mm PAL：127 × 96 mm
プリント速度	約 1.9 秒 / 1 画面 (標準設定時) (メニュー項目の「CONFIG.」→「-SPEED」で「HI」設定時) 約 3.3 秒 / 1 画面 (標準設定時) (メニュー項目の「CONFIG.」→「-SPEED」で「NOR」設定時)
ピクチャーメモリー	ビデオの場合 10 フレーム (800 k × 8 bit 相当) デジタルの場合 最大 4096 × 1280 ドット
入力端子	VIDEO IN (BNC) NTSC または PAL 方式コンポジットビデオ信号：1.0 Vp-p、75 Ω (NTSC/PAL 自動判別方式)
出力端子	VIDEO OUT (BNC) VIDEO IN のループスルー出力 (自動終端)

## インターフェース

Hi-Speed USB (USB 2.0 準拠)  
USB 端子 (タイプ A) USB フラッシュメモリー専用  
USB 端子 (タイプ B)  
リモート端子 REMOTE (ステレオミニジャック) 端子仕様



- 1 GND  
2 PRINT SIGNAL (TTL)  
100 msec 以上 LOW のパルスが入力されるとプリントが開始されます。  
3 PRINT BUSY (TTL)  
プリント中は HIGH レベルになります。
- 付属品  
ヘッドクリーニングシート (1)  
CD-ROM (プリンタードライバー) (1)  
取扱説明書 (1)  
保証書 (1)  
USB ケーブル 1-824-211-41 (Sony) (1)  
USB フラッシュメモリーエクステンションケーブル 1-848-418-11 (Sony) (1)  
BNC ケーブル 1-551-475-32 (Sony) (1)  
プリンター用紙 光沢プリント用紙 UPP-110HG (1)  
電源コード (1)

### 注意

付属の電源コードは本機の専用品です。他の機器には使用できません。

## 別売りアクセサリ

プリンター用紙  
高濃度プリント用紙 UPP-110HD  
光沢プリント用紙 UPP-110HG  
白黒プリント用紙 UPP-110S  
リモートコマンド RM-91  
フットスイッチ FS-24

### 注意

FS-24 は防水保護等級 IPX3 対応のため、液体にさらされる場所 (手術室など) ではご使用になれません。安全のため、液体にさらされる場所 (手術室など) でご使用の場合は、IPX6 以上に対応した製品をご使用ください。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

## 安全に関する仕様

電撃に対する保護の形式：

クラス I

水の浸入に対する保護等級：

0 級 (特に保護がされていない)

可燃性麻醉剤の点火の危険に対する保護：

空気、酸素または亜酸化窒素と混合した可燃性麻醉ガスが存在する環境での使用には適していません。

作動モード：

連続

- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。本機や付属のソフトウェア、記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により正常に動作しなかった場合のプリント結果や記録データの補償については、ご容赦ください。
- 故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本製品を使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねます。
- 諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断について、一切の責任を負いかねます。

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなど、機器表面や内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露が起きたときは電源を切り、結露がなくなるまで放置し、結露がなくなってからご使用ください。結露時のご使用は機器の故障の原因となる場合があります。

電解コンデンサの寿命は約 5 年です。

(常温で 1 日に 8 時間、1 カ月で 25 日間、通常に使用すると想定した場合)  
したがって、使用時間が上記より長い場合は、その分寿命は短くなります。

電気メスなどの強い電磁波を発生する機器を同時に使用する場合、事前に動作確認を行い、不具合の無いことを確認した上でご使用ください。

付属の光沢プリント用紙 (UPP-110HG) は動作確認用です。継続してお使いになる場合は、別売のプリンター用紙 (14 ページ) をご使用ください。

## 故障とお考えになる前に

修理にお出しになる前にもう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、ソニーのサービス窓口または営業担当者にお問い合わせください。

こんなときは	ご確認ください
細かいゴミが最初にプリントした数枚に現れる。	プリンター用紙を交換したばかりではありませんか？ →FEED ボタンを押して、紙を 15～20 cm 引き出してからプリントしてください。
PRINT ボタンを押してもプリントしない。あるいはコンピューターから画像を伝送してもプリントしない。	・ 用紙が送られない場合 →電源は入っていますか？ →正しく接続されていますか？ →用紙がたるんでいませんか？ →ビデオ画像をプリントしようとしている場合、メニュー「-MULTI」の項目が「MLT」になっていませんか？ →ビデオ画像をプリントしようとしている場合、ビデオ信号は入力されていますか？ ・ アラームブザーが鳴った場合 →サーマルヘッドが温度上昇していませんか？真っ黒に近い画像を連続してプリントすると、サーマルヘッドの温度が上昇する場合があります。しばらくプリントをやめてください。 →用紙は正しく取り付けられていますか？ ・ 用紙は送られるがプリントされない場合 →用紙の感熱面を上にして取り付けたか？ (15 ページ)
プリント面の周囲に黒い線ができる。または周囲が欠けている。	メニュー「SCAN」の項目の設定を変えてください。
紙詰まりが起きた。	・ OPEN ボタンを押してドアパネルを開け、プリンター用紙を取り出してから、詰まった紙を手でゆっくり引き出してください。 ・ プリンターが結露していませんか？ →寒い所から急に暑い所にプリンターを移すと、内部に水滴がつくこと (結露) があります。結露したら電源を切ったまま 1～2 時間放置してください。
印画ムラが起きる。	・ ヘッドが汚れていませんか？ →付属のヘッドクリーニングシートを使って、ヘッドをきれいにしてください。(35 ページ) ・ プラテンローラーが汚れていませんか？ →エチルアルコールで湿らせた柔らかい布を使って、プラテンローラーをきれいにしてください。(36 ページ)

こんなときは	ご確認ください
全面が真っ黒に近い画像を連続してプリントしたら、プリントしなくなりました。	真っ黒に近い画像を連続してプリントし続けると、それ以上プリントしなくなることがあります。サーマルヘッドの温度上昇を抑えるために保護回路が動作しているためです。 →メッセージが消えるまでお待ちください。
液晶ディスプレイに COOLING と表示された。	
白い線や小さい文字がぼけたり、二重になって見える。	ビデオ画像をプリントしようとしている場合、白黒ビデオ信号に対して、メニュー「VIDEO」→「-COLOR」の項目が「COLR:ON」に設定されていませんか？ →「COLR:OFF」に設定してください。
全体的に細かいチェック模様が見える。	ビデオ画像をプリントしようとしている場合、カラービデオ信号に対して、メニュー「VIDEO」→「-COLOR」の項目が「COLR:OFF」に設定されていませんか？ →「COLR:ON」に設定してください。
プリント画が明るすぎる、または暗すぎる。	・メニューの「CONFIG.」→「-PP.TYPE」項目は正しく設定してありますか？ ・メニューの「ADJUST」→「-GAMMA」項目は正しく設定してありますか？
プリントされた画像が長い。	メニューの「VIDEO」→「-ASPECT」項目で、「ASPT:1:1」が選択されていませんか？ →「ASPT:4:3」にしてください。
プリンター用紙がスムーズに送られない。	プラテンローラーが汚れていませんか？ →プラテンローラーをクリーニングしてください。(36 ページ)
印刷が途中で中断される。	排紙口に太陽光や白熱灯など、強い赤外線を含む光が当たっていませんか？
印刷すると白い紙が数 cm 排出されて止まる。	→プリンター用紙を検出するために赤外線センサーを使っており、排紙口に直接そのような光が当たっていると、プリンター用紙の検出が正しくできなくなる場合があります。
印刷できない。	
紙が正しくセットされているのに「EMPTY」と表示される。	排紙口には、直接光が当たらないようにしてお使いください。

## エラーメッセージ一覧

液晶ディスプレイに表示されるメッセージは以下のとおりです。メッセージに従って次に示す処置をしてください。

エラーメッセージ	意味/対処
DOOR	ドアが開いています。 →ドアをロックされるまできちんと閉めてください。
EMPTY	・プリンター用紙がありません。 ・プリンター用紙を使い切りました。 →プリンター用紙を取り付けてください。
COOLING	サーマルヘッドの温度上昇を抑えるために、保護回路が動作しています。 →メッセージ消えるまでお待ちください。自動的にプリントを開始します。
LOCK	メニュー操作機能がロックされています。メニューレバー、CONTRASTつまみ、およびBRIGHTつまみは働きません。 →メニュー操作を行いたい場合は、お近くの代理店、またはソニー営業担当者にお問い合わせください。
ERROR	メカトラブルが発生しています。 →電源を一度切り、再投入してください。 それでも同じ表示が出るようでしたら、ソニーのサービス窓口または営業担当にお問い合わせください。
NO.INPUT	ビデオ信号が入力されていないときに PRINT ボタンを押しています。 →ビデオ入力端子とビデオ機器を BNC ケーブルでつなぎ、ビデオ信号を入力してから PRINT ボタンを押してください。



エラーメッセージ	意味/対処
STOR.ERR	<p>USB ホストポートに接続された USB フラッシュメモリーへの書き込みが失敗しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ソニー製の 64GB 以下の USB フラッシュメモリーではありません。 →ソニー製の 64GB 以下の USB フラッシュメモリーをお使いください。</li> <li>・ フォーマットが FAT16 または FAT32 ではありません。 →FAT16 または FAT32 フォーマットのものをお使いください。</li> <li>・ 書き込み禁止機能のある USB フラッシュメモリーで書き込み禁止になっています。 →書き込み禁止を解除してください。</li> <li>・ パーティションが分れて複数のドライブに見える USB フラッシュメモリーを使っています。 →複数のパーティションに分かれた USB フラッシュメモリーには対応していません。単一パーティションのものをお使いください。</li> <li>・ 指紋認証などのセキュリティ機能がある特殊な USB フラッシュメモリーを使っています。 →特殊な USB フラッシュメモリーには対応していません。</li> <li>・ USB フラッシュメモリーが故障しています。 →新しい USB フラッシュメモリーをお使いください。</li> </ul>
NO.SPACE	<p>USB フラッシュメモリーの残りの容量が不足しています。 →空き容量のある USB フラッシュメモリーに交換してください。</p>

## アフターサービス

### 調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

### それでも調子の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、またはお近くのソニー業務用製品ご相談窓口にご連絡ください。

## ライセンスについて

本製品には、弊社がその著作権者様とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアである「zlib」、「The FreeType Project LICENSE」、「The Catharon Open Source LICENSE」が搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

### zlib

(C) 1995-1998 Jean-loup Gailly and Mark Adler

### The FreeType Project LICENSE

Copyright 1996-2002 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg

TrueType フォントのラスターライズ処理は、FreeType Project のソフトウェアをベースにしています。

### The Catharon Open Source LICENSE

Copyright(c) 2000 by Catharon Productions, Inc. TrueType フォントのヒンティング処理は、Catharon Productions 社のソースコードを使用しています。

# 索引

## あ

安全のために ..... 2

## え

エラーメッセージ ..... 26, 29, 40

## か

各部の名称と働き

フロントパネル ..... 11

リアパネル ..... 12

## く

クリーニング

キャビネット ..... 35

プラテンローラー ..... 36

ヘッド ..... 35

クリーニングシート ..... 35

## こ

故障とお考えになる前に ..... 39

## し

仕様 ..... 37

使用上のご注意

安全 ..... 34

置き場所 ..... 34

警告 ..... 4

注意 ..... 5

電源 ..... 34

持ち運び ..... 34

## せ

接続 ..... 13

## と

特長 ..... 11

## は

はじめに ..... 11

## ふ

プリンター用紙

ご注意 ..... 14

種類 ..... 14

取り付け ..... 15

プリント

コントラストを調節 ..... 30

明るさを調節 ..... 30

同じ画像をプリントする ..... 30

紙を切る ..... 29

コンピューターからプリントする  
..... 28

中断する ..... 29

ビデオ機器からの画像をプリント

する ..... 26

プリントする ..... 26, 28

用紙を送る ..... 30

## め

メニュー

一覧 ..... 19

一覧をプリントする ..... 25

基本操作 ..... 23

設定値の登録 ..... 24

設定を呼び出す ..... 25

フロー ..... 18

## U

USB フラッシュメモリー

画像データを保存する ..... 31



お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>

Printed in China



4528685010